

## 1. 空路調査

---



## 1-1 調査の背景と目的

## (1) 調査目的

沖縄に訪問する外国人観光客を対象にアンケート調査を実施。観光動向やニーズを把握し、外国人観光客の受入体制の強化、充実を図るための情報収集を目的とする。

## (2) 調査対象者

那覇空港を出国する訪日外国人

ただし、1年以上の滞在者、「永住者」「日本人の配偶者」「永住者の配偶者」「定住者」など日本に居住している人、乗務員を除く。

## (3) 調査場所

那覇空港国際線ターミナル搭乗待合室

## (4) 調査時期

平成25年4月：	4月18日(木)、20日(土)	平成25年10月：	10月17日(木)、19日(土)
5月：	5月16日(木)、18日(土)	11月：	11月14日(木)、16日(土)
6月：	6月6日(木)、8日(土)	12月：	12月5日(木)、7日(土)
7月：	7月4日(木)、13日(土)	平成26年1月：	1月18日(土)、23日(木)
8月：	8月1日(木)、3日(土)	2月：	2月6日(木)、8日(土)
9月：	9月5日(木)、7日(土)	3月：	3月1日(土)、6日(木)

## (5) 調査方法

4言語の紙調査票を用い、外国語を話せる調査員による聞き取り調査を実施

※調査対応言語：英語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）

## (6) 調査標本数

	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
平成25年4月	114	33	20	40	15	1	5
5月	114	36	17	36	15	3	7
6月	129	46	24	33	12	3	11
7月	130	38	24	27	30	3	8
8月	121	40	21	28	20	5	7
9月	156	49	26	41	25	8	7
10月	228	83	39	55	30	6	15
11月	208	60	38	55	39	4	12
12月	196	41	38	50	46	9	12
平成26年1月	196	65	23	56	42	0	10
2月	221	80	31	48	47	5	10
3月	187	53	24	55	40	3	12
合計	2,000	624	325	524	361	50	116

## 1. 空路調査

### (7) その他の注意点

統計調査においては、データを全調査対象から集める全数調査と対象の一部を取り出して調査する標本調査がある。本調査は、標本調査の結果の数字であり、標本誤差を含んでいる点に留意されたい。

また、調査結果中の合計値は、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

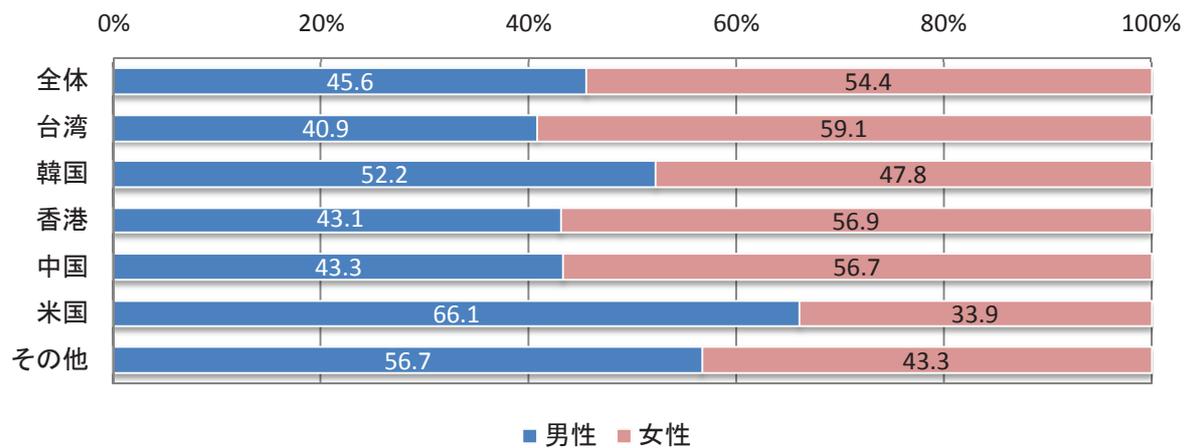
1-2 訪沖外国人観光客の属性

(1) 回答者属性

・ 性別構成比

性別構成比については、全体で男性 45.6%、女性 54.4%となり、女性の方がやや多い。台湾、香港、中国は女性が半数を上回る一方、韓国、米国、その他では男性の割合が女性を上回る。

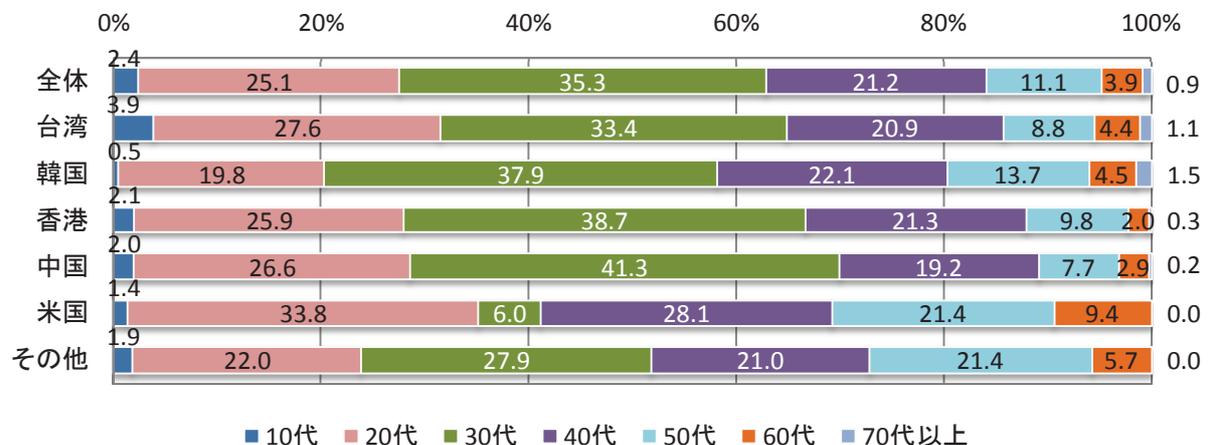
図表 1-1 性別構成比（国籍・地域別）



・ 年代別構成比

年代別の構成比については、全体では 20 代と 30 代が約 6 割を占める。主要 4 か国籍・地域（台湾、韓国、香港、中国）で全て 30 代が最も多くを占めている。

図表 1-2 年代別構成比（国籍・地域別）



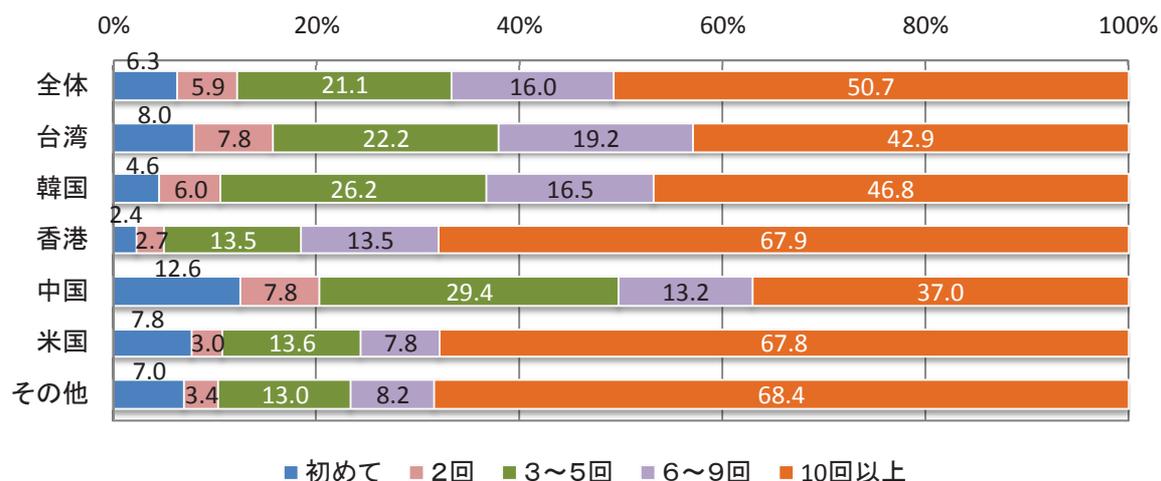
## 1. 空路調査

### (2) 旅行経験

#### ・ 海外旅行経験

海外旅行経験については、全体では「10回以上」が最も多いが、中国ではこの割合が37.0%と他の国籍・地域に比べて低い。また「今回の沖縄旅行が初めての海外旅行」は中国で12.6%、台湾で8.0%だった。

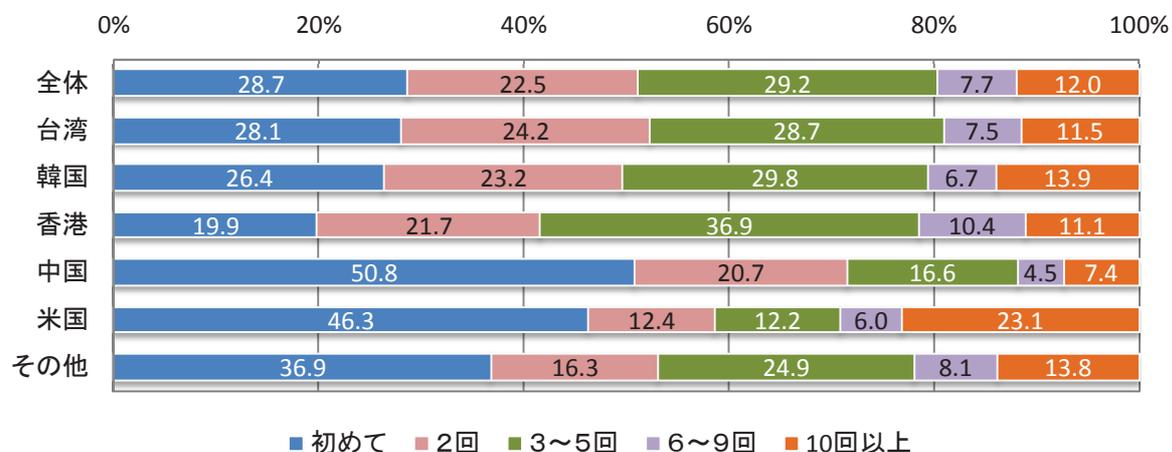
図表 1-3 海外旅行回数（国籍・地域別）



#### ・ 訪日旅行経験

訪日旅行経験については、中国と米国の半数前後が「初めて」となっている。一方、台湾、韓国、香港は「初めて」は2~3割程度と比較的低く、多くが訪日旅行のリピーターである。

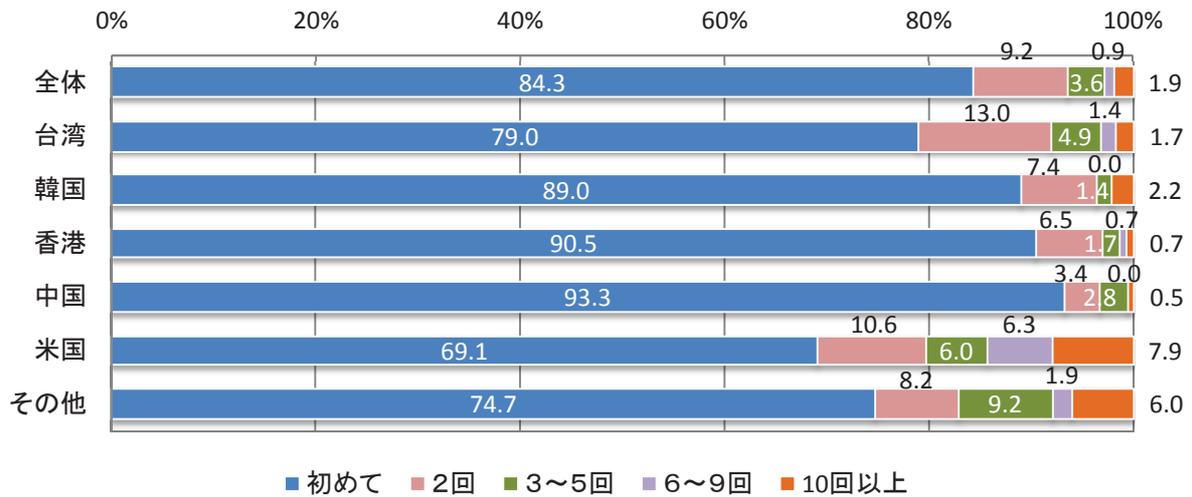
図表 1-4 訪日旅行回数（国籍・地域別）



・ 沖縄旅行経験

沖縄旅行経験については、全体の84.3%が「初めて」である。国籍・地域別に見ると、韓国、香港、中国の約9割が「初めて」となっている。台湾は「初めて」の比率がやや低く79.0%だった。また、米国やその他についても「初めて」の比率は7割前後とやや低くなっている。

図表 1-5 沖縄旅行回数（国籍・地域別）



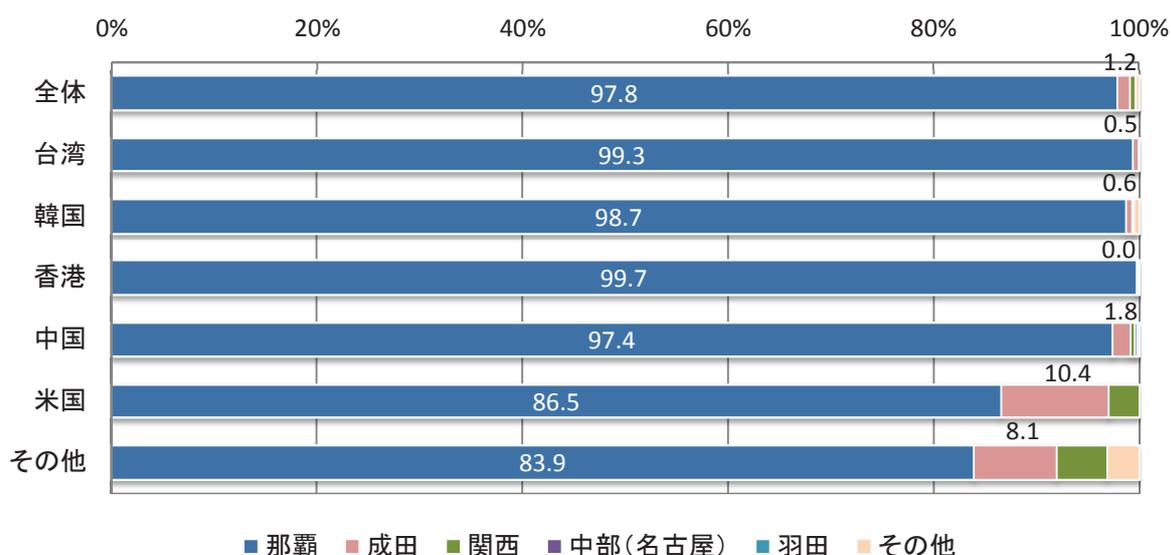
## 1. 空路調査

### 1-3 訪沖外国人観光客の旅行内容

#### (1) 日本に入国した空港

全体の97.8%が「那覇空港」から入国している。国籍・地域別で見ても8割以上が「那覇空港」からの入国である。それ以外の空港で最も多いのは「成田空港」である。

図表 1-6 日本に入国した空港



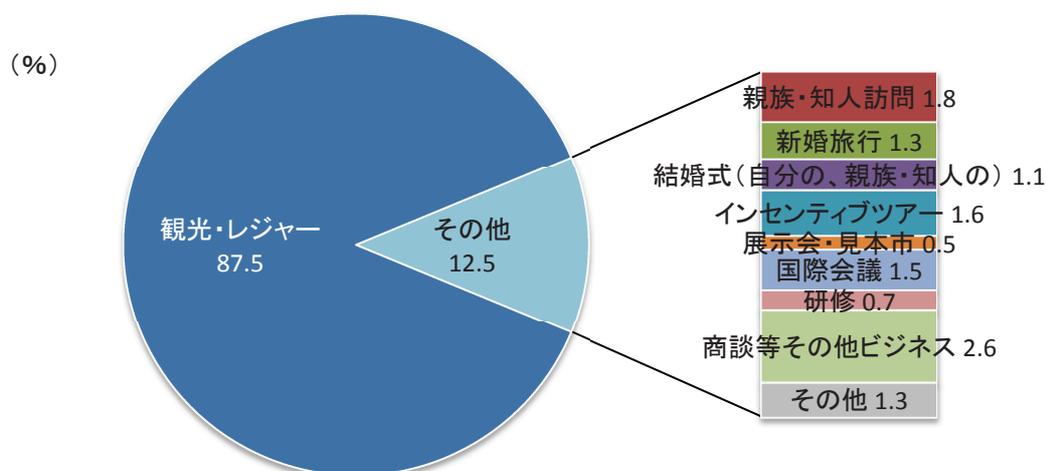
(%)

	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
那覇	97.8	99.3	98.7	99.7	97.4	86.5	83.9
成田	1.2	0.5	0.6	0.0	1.8	10.4	8.1
関西	0.5	0.1	0.2	0.1	0.4	3.0	4.9
中部(名古屋)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
羽田	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
その他	0.4	0.0	0.5	0.0	0.2	0.0	3.1

## (2) 沖縄訪問の目的

沖縄を訪れた目的を見ると、「観光・レジャー」が87.5%と大半を占める。国籍・地域別に見ると、主要4か国籍・地域は「観光・レジャー」が9割前後を占めている。一方、米国は「親族・知人訪問」が34.3%、「商談等その他ビジネス」が12.2%、「国際会議」が7.8%と観光目的以外で多く訪沖していることがわかる。その他も米国同様に「親族・知人訪問」(12.0%)、「商談等その他ビジネス」(10.4%)、「国際会議」(7.3%)といった観光目的以外の比率が高くなっている。

図表 1-7 沖縄訪問の目的



(%)

	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
観光・レジャー	87.5	90.0	87.9	94.3	90.0	42.9	58.3
親族・知人訪問	1.8	0.6	0.2	0.7	0.9	34.3	12.0
新婚旅行	1.3	0.6	3.5	1.6	0.0	0.0	0.0
結婚式(自分の、親族・知人の)	1.1	1.2	0.2	2.7	0.2	0.0	0.0
インセンティブツアー	1.6	3.7	0.0	0.1	0.8	0.0	0.8
展示会・見本市	0.5	0.6	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0
国際会議	1.5	1.1	0.9	0.1	2.3	7.8	7.3
研修	0.7	0.4	0.5	0.0	1.6	2.8	4.0
商談等その他ビジネス	2.6	1.1	4.1	0.4	3.0	12.2	10.4
その他	1.3	0.8	1.9	0.0	0.2	0.0	7.1

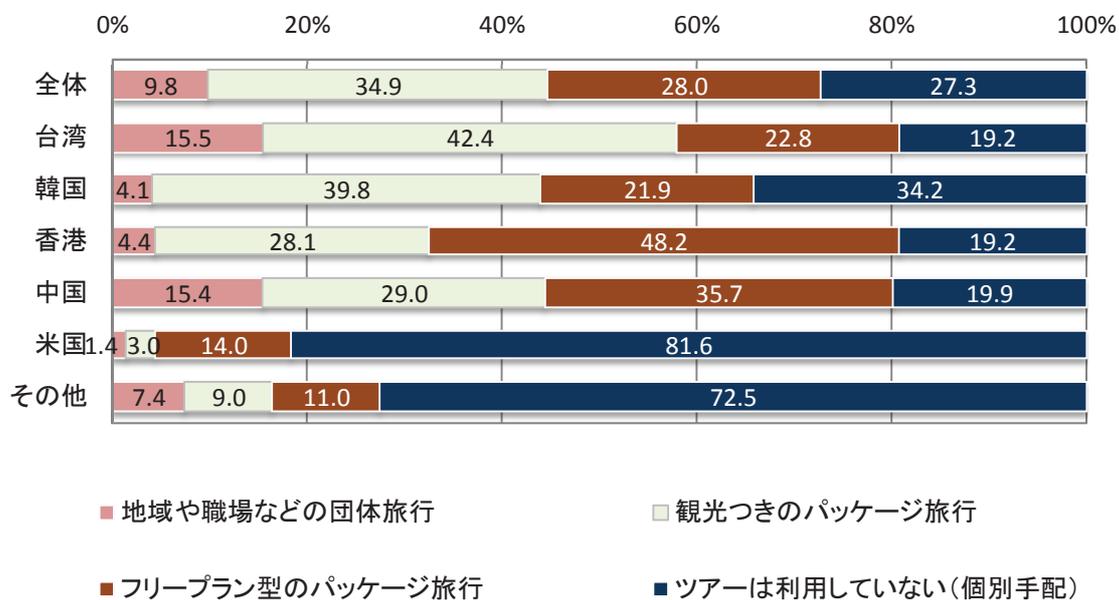
## 1. 空路調査

### (3) 旅行形態

旅行形態については、「観光付きのパッケージ旅行」(34.9%)が最も多く、次いで「フリープラン型のパッケージ旅行」が28.0%、「ツアーは利用していない(個別手配)」が27.3%と続いている。

国籍・地域別に見ると、台湾の「観光付きのパッケージ旅行」の比率が42.4%と高くなっている。香港と中国では「フリープラン型のパッケージ旅行」が最も多い。米国とその他では、大半が「ツアーは利用していない(個別手配)」が占める。

図表 1-8 旅行形態(国籍・地域別)

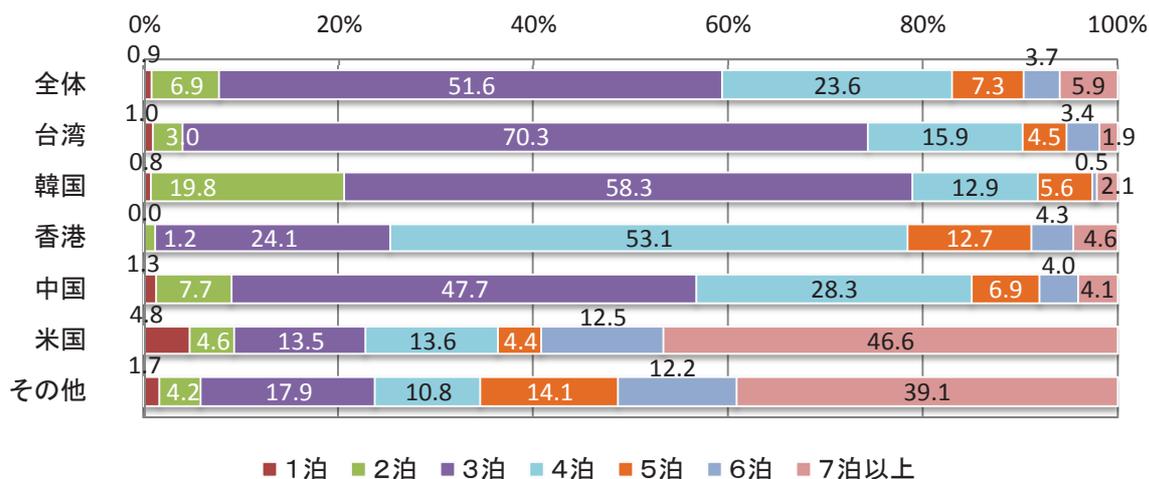


(4) 宿泊数

・ 宿泊数

宿泊数については、「3泊」が最も多く、全体の約半数を占める。特に台湾や韓国では「3泊」の比率が高く約6～7割を占めている。一方、香港では「4泊」が多く、5割以上となっている。米国とその他では「7泊以上」の比率が高くなっている。

図表 1-9 宿泊数（国籍・地域別）



・ 平均泊数（滞在日数 90 日以内）

全体の平均泊数は 3.95 泊である。主要 4 か国籍・地域では香港の泊数が長く、4 泊を超えている。米国とその他の平均泊数は 8 泊を超えている。

図表 1-10 平均泊数（国籍・地域別）

	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
4-6月期	3.89	3.25	3.49	3.82	3.71	6.50	8.57
7-9月期	3.96	3.31	3.39	4.32	3.64	12.13	8.00
10-12月期	4.02	3.41	3.07	4.16	3.41	5.53	8.11
1-3月期	3.94	3.76	3.10	4.13	3.71	7.88	9.16
年度合計	<b>3.95</b>	3.42	3.22	4.11	3.62	8.02	8.41

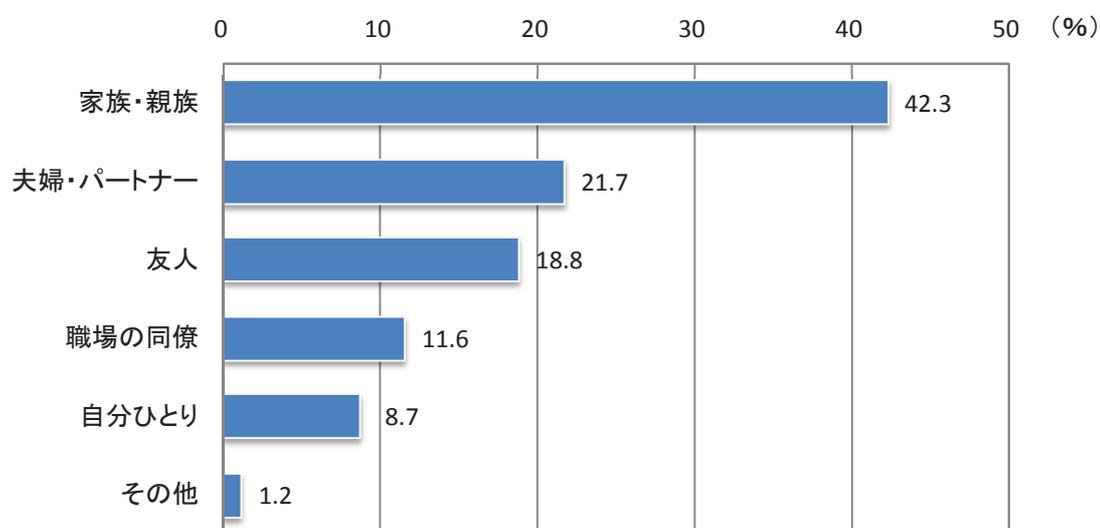
## 1. 空路調査

### (5) 同行者（複数回答）

全体では「家族・親族」が42.3%と最も多く、次いで「夫婦・パートナー」(21.7%)、友人(18.8%)と続いている。

国籍・地域別に見ると、主要4か国籍・地域とも「家族・親族」が最も多くなっている。台湾と中国では「職場の同僚」の比率が他の国籍・地域と比べて高くなっている。米国とその他では「自分ひとり」の比率が高い傾向にある。

図表 1-1 1 同行者（複数回答）



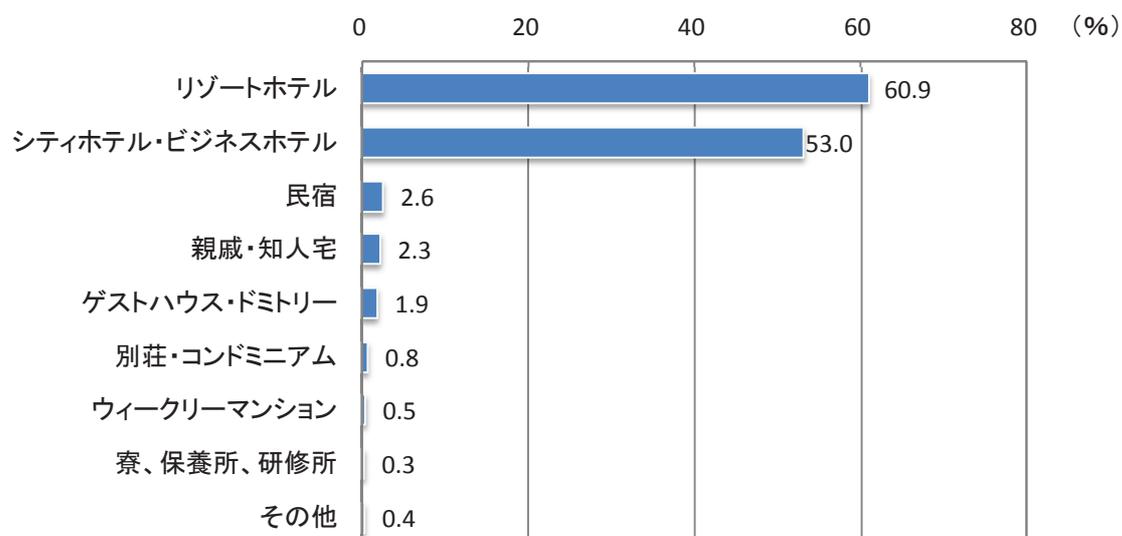
	(%)						
	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
自分ひとり	8.7	6.1	10.2	3.5	9.3	<b>47.4</b>	26.4
夫婦・パートナー	21.7	14.8	21.9	34.4	20.6	18.4	<b>24.4</b>
家族・親族	<b>42.3</b>	<b>47.6</b>	<b>44.6</b>	<b>41.8</b>	<b>33.8</b>	18.9	21.3
職場の同僚	11.6	18.1	7.3	2.9	17.0	4.6	9.3
友人	18.8	18.4	16.8	20.4	21.3	12.2	21.5
その他	1.2	1.4	2.1	0.1	0.7	0.0	0.7

## (6) 宿泊施設（複数回答）

利用した宿泊施設については、「リゾートホテル」（60.9%）、「シティホテル・ビジネスホテル」（53.0%）がほとんどを占める。

国籍・地域別に見ると、台湾は「シティホテル・ビジネスホテル」（63.4%）が「リゾートホテル」（59.0%）を上回っている。米国は「親戚・知人宅」が43.8%と最も多くなっている。

図表 1-1 2 宿泊施設（複数回答）



	(%)						
	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
リゾートホテル	60.9	59.0	64.0	72.0	63.9	19.6	33.6
シティホテル・ビジネスホテル	53.0	63.4	44.8	46.5	45.7	35.2	51.3
民宿	2.6	3.0	1.3	3.7	1.4	1.4	2.6
親戚・知人宅	2.3	1.1	0.8	0.4	1.1	43.8	12.1
ゲストハウス・ドミトリー	1.9	1.2	1.8	0.9	0.3	4.6	10.5
別荘・コンドミニアム	0.8	0.8	0.8	0.7	0.0	0.0	1.5
ウィークリーマンション	0.5	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0	3.6
寮、保養所、研修所	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	3.2	3.0
その他	0.4	0.1	0.5	0.0	0.7	1.6	1.9

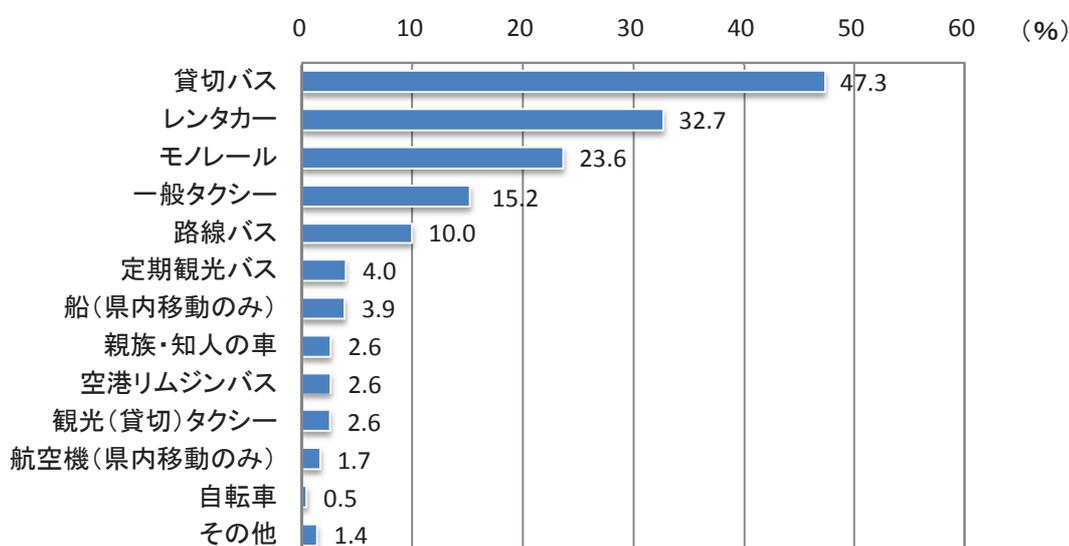
## 1. 空路調査

### (7) 交通機関（複数回答）

旅行形態で『観光付きのパッケージ旅行』が最も多いことから、交通機関では「貸切バス」が47.3%と最も多くなっている。次いで「レンタカー」（32.7%）、「モノレール」（23.6%）と続いている。

国籍・地域別に見ると、『観光付きのパッケージ旅行』利用率が高い台湾や『地域や職場などの団体旅行』利用率が高い中国で「貸切バス」利用率が50%を超えている（p8参照）。一方で、『フリープラン型のパッケージ旅行』利用率が高い香港や『ツアーは利用していない（個別手配）』利用率が高い韓国では「レンタカー」利用率が4割を超えている。

図表 1-13 交通機関（複数回答）



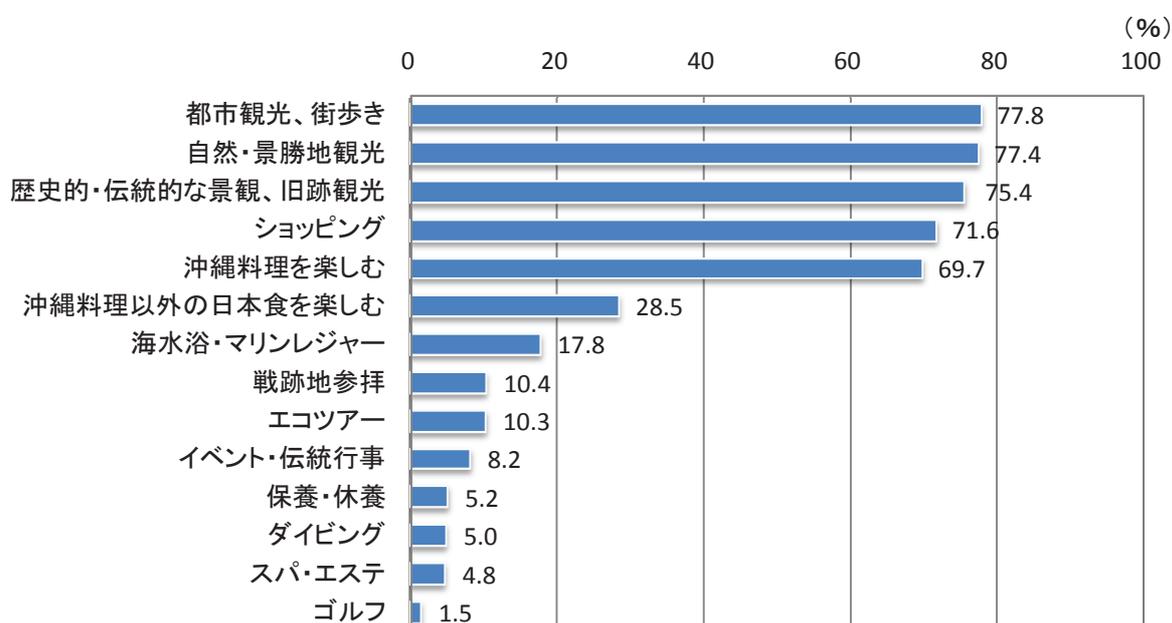
	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
貸切バス	47.3	59.0	45.5	38.7	50.4	5.8	16.9
レンタカー	32.7	27.7	40.3	47.3	6.3	18.8	25.7
モノレール	23.6	22.2	17.1	28.1	24.5	22.1	38.5
一般タクシー	15.2	10.1	11.1	13.1	40.4	25.0	33.4
路線バス	10.0	7.5	6.2	13.0	22.8	6.0	13.5
定期観光バス	4.0	2.3	3.8	4.8	9.7	0.0	6.3
船(県内移動のみ)	3.9	1.3	4.2	4.0	3.8	6.6	17.0
親族・知人の車	2.6	1.7	0.8	0.7	4.0	35.2	11.3
空港リムジンバス	2.6	1.0	1.8	2.3	8.4	2.8	9.2
観光(貸切)タクシー	2.6	1.1	1.3	1.7	7.8	13.3	10.0
航空機(県内移動のみ)	1.7	0.1	1.5	2.1	2.1	3.0	9.4
自転車	0.5	0.2	0.0	0.0	0.5	6.2	3.4
その他	1.4	0.7	0.5	1.7	2.7	9.4	4.1

## (8) 活動（複数回答）

沖縄旅行で行った活動で最も多かったのは、「都市観光、街歩き」で 77.8%、次いで「自然・景勝地観光」（77.4%）、「歴史的・伝統的な景観、旧跡観光」（75.4%）、「ショッピング」（71.6%）、「沖縄料理を楽しむ」（69.7%）と続いている。

国籍・地域別に見ると、香港や中国で「ショッピング」の選択率が8割を超えている。また、韓国、米国、その他では「保養・休養」が1割を超えている。

図表 1-1 4 活動（複数回答）



	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
都市観光、街歩き	77.8	85.4	63.8	83.6	81.2	64.6	60.5
自然・景勝地観光	77.4	84.2	61.1	86.0	85.9	67.6	57.4
歴史的・伝統的な景観、旧跡観光	75.4	83.9	62.6	73.1	77.0	76.6	73.3
ショッピング	71.6	79.3	48.9	82.2	85.6	62.7	55.1
沖縄料理を楽しむ	69.7	78.2	44.5	79.7	82.2	64.6	59.8
沖縄料理以外の日本食を楽しむ	28.5	28.9	19.1	30.7	35.7	37.8	39.6
海水浴・マリレジャー	17.8	13.1	14.6	23.5	21.9	38.9	28.9
戦跡地参拝	10.4	18.4	1.8	5.7	5.4	26.6	8.7
エコツアー	10.3	15.9	1.3	12.1	8.2	3.2	6.3
イベント・伝統行事	8.2	13.2	4.8	4.9	4.3	9.4	5.0
保養・休養	5.2	1.5	12.9	2.0	3.6	16.2	10.1
ダイビング	5.0	3.1	1.3	8.8	8.7	9.9	10.8
スパ・エステ	4.8	1.4	10.7	5.4	2.5	7.8	5.4
ゴルフ	1.5	0.7	3.5	0.1	2.3	9.3	1.8

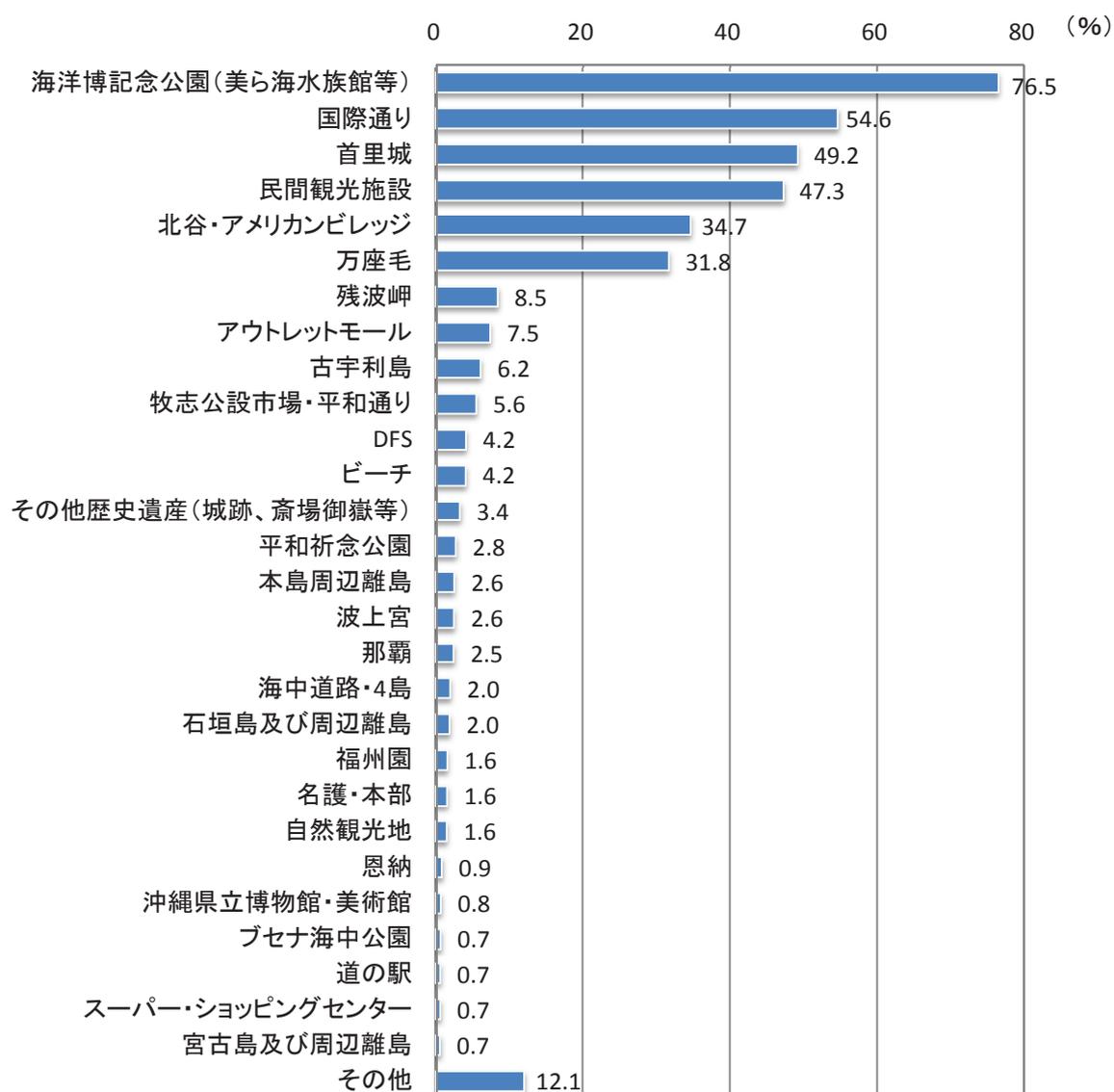
## 1. 空路調査

### (9) 訪問先

#### ・ 今回の旅行で訪問した場所（自由回答）

今回の旅行で訪問した場所5か所を自由回答形式で尋ねたところ、最も多かったのは「海洋博記念公園（美ら海水族館等）」で76.5%であった。次いで、「国際通り」（54.6%）、首里城（49.2%）と続いている。

図表 1-15 今回の旅行で訪問した場所（自由回答）



## 1. 空路調査

国籍・地域別に見ると、韓国と米国の「ビーチ」の比率がそれぞれ8.4%、10.3%と高い傾向にある。また、「その他歴史遺産（城跡、斎場御嶽等）」は米国は13.7%と高くなっているが、それ以外では訪問率は低くなっている。

	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
海洋博記念公園(美ら海水族館等)	<b>76.5</b>	<b>81.4</b>	<b>75.4</b>	<b>79.5</b>	<b>73.4</b>	<b>41.0</b>	<b>53.4</b>
国際通り	<b>54.6</b>	<b>64.6</b>	34.1	<b>65.4</b>	<b>60.7</b>	20.2	<b>32.0</b>
首里城	<b>49.2</b>	57.5	<b>45.8</b>	42.6	<b>47.9</b>	<b>30.9</b>	<b>37.8</b>
民間観光施設	47.3	<b>62.6</b>	37.9	39.1	40.3	30.4	25.7
北谷・アメリカンビレッジ	34.7	39.3	28.8	38.1	27.5	<b>40.3</b>	23.7
万座毛	31.8	10.9	<b>50.2</b>	<b>55.0</b>	42.7	9.9	14.7
残波岬	8.5	9.5	2.7	15.6	6.6	8.5	2.6
アウトレットモール	7.5	6.6	8.7	5.4	13.2	6.8	8.2
古宇利島	6.2	5.6	8.3	7.0	4.4	8.5	1.8
牧志公設市場・平和通り	5.6	6.2	0.2	9.7	7.5	0.0	5.9
DFS	4.2	4.5	2.7	2.6	12.8	0.0	3.0
ビーチ	4.2	1.9	8.4	3.5	3.3	10.3	5.5
その他歴史遺産(城跡、斎場御嶽等)	3.4	3.1	3.7	2.7	0.6	13.7	6.6
平和祈念公園	2.8	2.7	2.2	1.6	1.7	9.9	8.0
本島周辺離島	2.6	0.9	3.0	2.5	2.4	5.3	11.1
波上宮	2.6	4.5	0.5	1.4	4.2	0.0	0.0
那覇	2.5	2.1	0.8	1.6	0.9	9.9	13.2
海中道路・4島	2.0	1.9	2.3	1.0	1.4	8.8	3.8
石垣島及び周辺離島	2.0	0.0	1.7	2.6	1.5	5.1	11.9
福州園	1.6	3.1	1.0	0.1	1.5	1.7	0.0
名護・本部	1.6	0.7	1.6	2.3	1.2	8.3	3.8
自然観光地	1.6	0.7	2.1	1.6	0.9	8.6	3.6
恩納	0.9	1.0	0.0	1.4	0.8	1.6	1.8
沖縄県立博物館・美術館	0.8	1.1	0.0	0.7	1.2	0.0	0.7
ブセナ海中公園	0.7	0.5	0.2	1.7	1.6	0.0	0.0
道の駅	0.7	0.5	0.8	1.0	0.3	0.0	1.5
スーパー・ショッピングセンター	0.7	0.1	0.2	2.1	0.7	0.0	1.1
宮古島及び周辺離島	0.7	0.1	1.3	0.3	0.7	1.7	2.6
その他	12.1	11.3	13.0	9.6	9.7	20.3	22.0

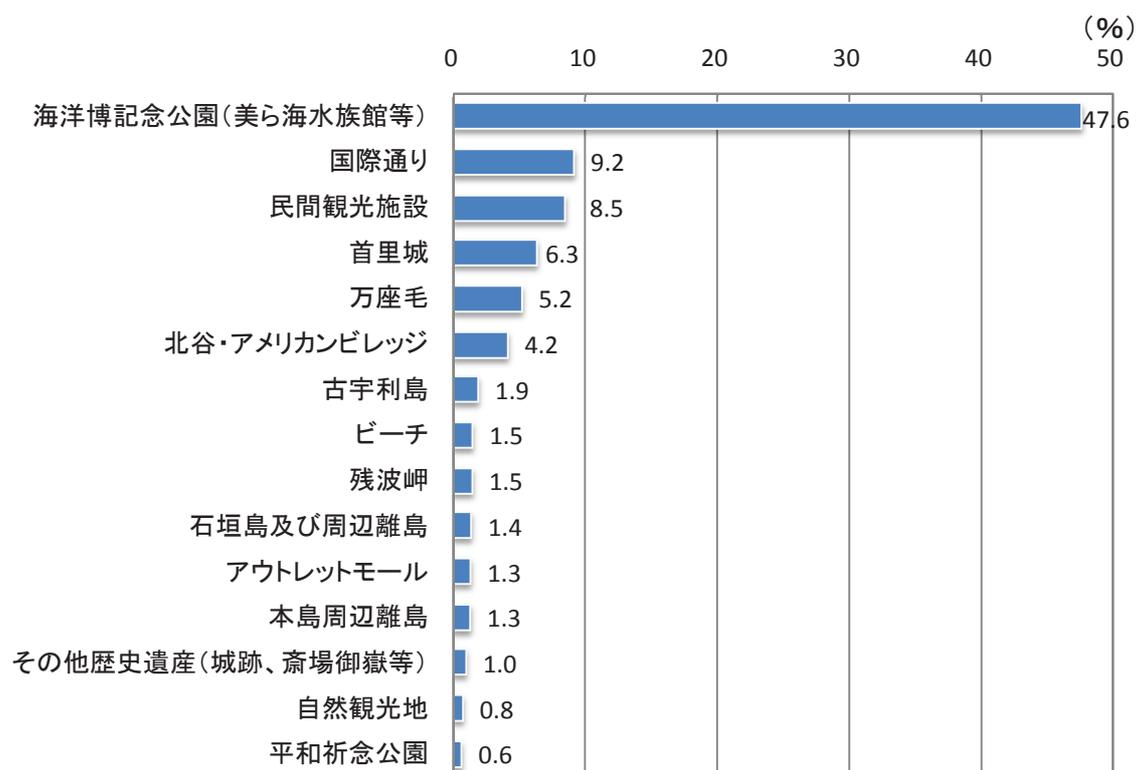
## 1. 空路調査

### ・ 最も気に入った場所（自由回答）

最も気に入った場所を自由回答形式で尋ねたところ、最も多かったのは「海洋博記念公園（美ら海水族館等）」で47.6%であった。次いで、「国際通り」（9.2%）、「民間観光施設」（8.5%）と続いている。

国籍・地域別に見ると、香港で「万座毛」が10.6%と高くなっている。また、米国とその他では「首里城」がそれぞれ12.0%、12.2%と高くなっている。

図表 1-16 最も気に入った場所（自由回答、上位15か所）



	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
海洋博記念公園(美ら海水族館等)	47.6	47.7	52.1	49.4	50.2	32.2	27.2
国際通り	9.2	10.7	6.1	9.8	8.2	6.7	9.9
民間観光施設	8.5	14.7	3.2	4.2	5.5	5.3	6.7
首里城	6.3	6.5	6.6	3.4	6.3	12.0	12.2
万座毛	5.2	0.9	8.0	10.6	8.7	6.8	1.1
北谷・アメリカンビレッジ	4.2	5.1	3.5	4.2	4.3	1.8	1.2
古宇利島	1.9	1.8	3.0	1.9	1.3	1.8	0.0
ビーチ	1.5	0.8	2.9	1.1	0.7	6.1	2.1
残波岬	1.5	2.3	0.0	1.7	0.8	1.8	1.2
石垣島及び周辺離島	1.4	0.0	1.1	1.9	0.9	5.1	8.3
アウトレットモール	1.3	1.5	0.7	0.9	2.6	0.0	2.4
本島周辺離島	1.3	0.2	1.8	0.7	1.2	6.1	6.5
その他歴史遺産(城跡、斎場御嶽等)	1.0	1.4	0.9	0.4	0.0	0.0	2.1
自然観光地	0.8	0.3	1.3	1.0	0.0	0.0	2.0
平和祈念公園	0.6	0.1	0.9	0.0	0.5	3.5	4.3

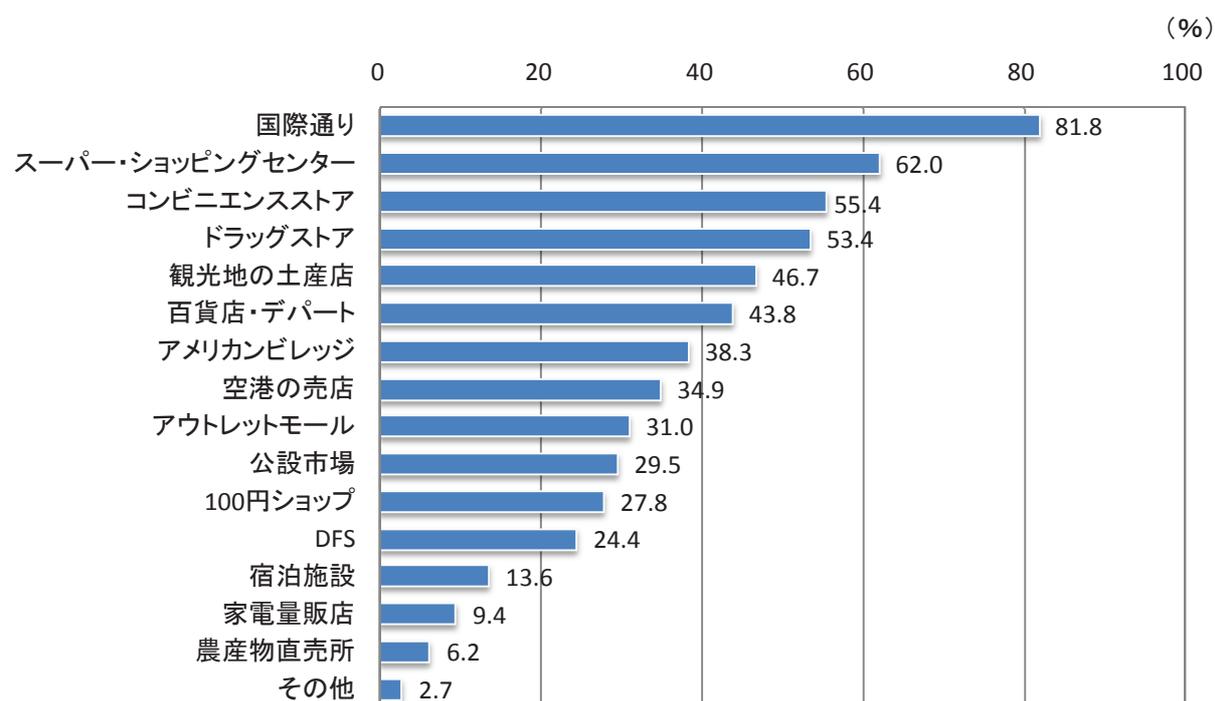
## 1-4 訪沖外国人観光客の滞在中の消費活動

## (1) 買い物をした場所（複数回答）

買い物をした場所については、「国際通り」が最も多く 81.8%となっている。

国籍・地域別に見ると、台湾、香港、中国は他の国籍と比較して多くの場所で買い物をする傾向にある。

図表 1-17 買い物をした場所（複数回答）



	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
国際通り	81.8	92.4	58.6	93.8	83.3	42.5	67.0
スーパー・ショッピングセンター	62.0	68.5	37.9	77.5	66.7	33.7	56.4
コンビニエンスストア	55.4	65.3	33.2	65.7	54.3	49.5	41.5
ドラッグストア	53.4	79.4	7.5	61.5	65.7	19.9	21.0
観光地の土産店	46.7	50.3	38.4	57.6	35.2	37.3	34.9
百貨店・デパート	43.8	45.7	29.2	57.4	49.1	29.8	35.8
アメリカンビレッジ	38.3	48.2	19.3	46.1	31.0	46.7	26.3
空港の売店	34.9	39.3	28.5	33.3	38.4	15.5	35.1
アウトレットモール	31.0	36.0	25.7	26.3	43.9	16.3	22.1
公設市場	29.5	31.3	6.0	52.0	32.3	8.1	28.8
100円ショップ	27.8	29.9	18.9	37.6	21.0	37.3	20.8
DFS	24.4	23.2	21.6	21.1	58.6	17.6	13.7
宿泊施設	13.6	17.3	2.3	21.2	11.8	1.7	9.9
家電量販店	9.4	12.1	1.1	8.0	20.7	11.4	11.9
農産物直売所	6.2	7.8	0.6	8.9	5.8	13.6	5.7
その他	2.7	2.1	3.6	1.7	2.9	14.0	4.4

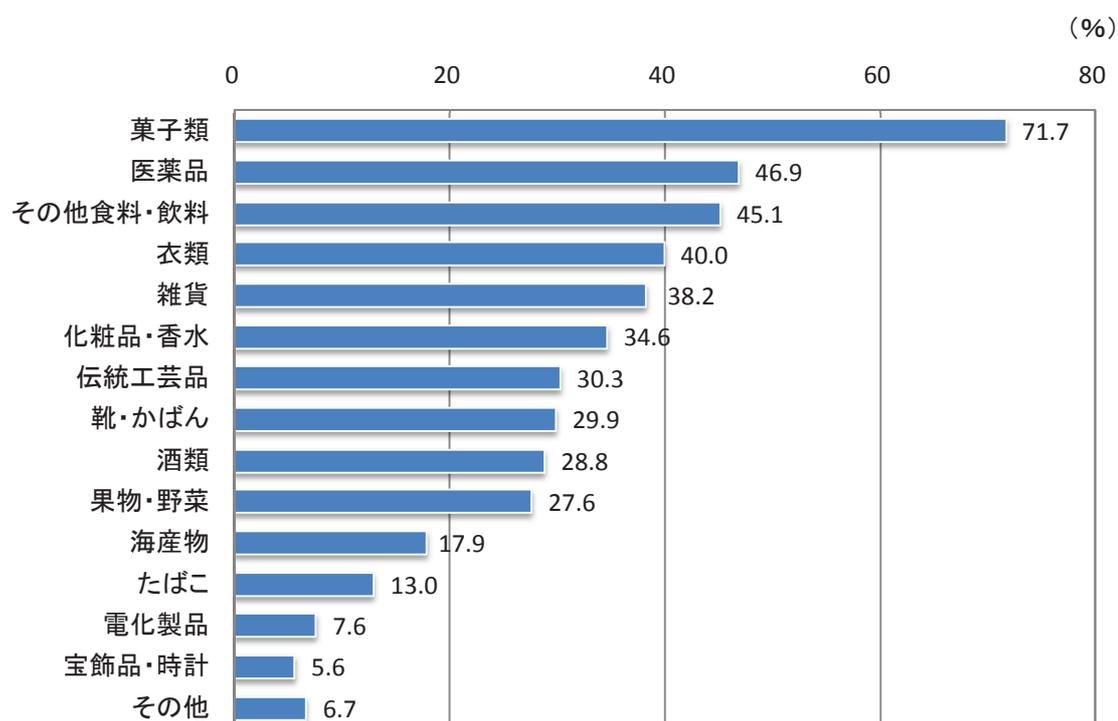
## 1. 空路調査

### (2) 沖縄で購入した商品（複数回答）

沖縄で購入した商品で最も多いのは、「菓子類」で71.7%、次いで「医薬品」（46.9%）、「その他食料・飲料」（45.1%）と続いている。

国籍・地域別に見ると、全ての国籍・地域で「菓子類」が1位となっている。台湾は「医薬品」も70.1%と多く、米国は「その他食料・飲料」が52.3%と多くなっている。

図表 1-18 沖縄で購入した商品（複数回答）

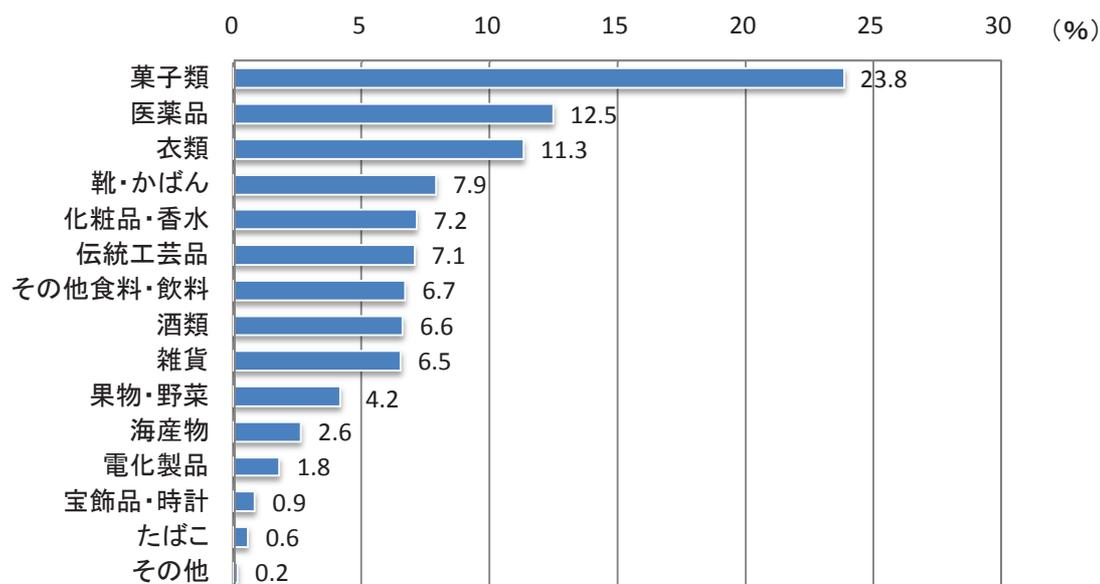


	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
菓子類	71.7	70.3	77.6	69.3	77.5	55.4	64.0
医薬品	46.9	70.1	14.4	51.1	47.0	5.9	13.5
その他食料・飲料	45.1	55.4	26.8	47.9	39.4	52.3	41.9
衣類	40.0	40.8	22.5	55.4	43.2	45.2	40.5
雑貨	38.2	45.7	29.2	39.4	32.9	41.0	26.0
化粧品・香水	34.6	37.8	22.3	36.6	65.7	18.1	18.5
伝統工芸品	30.3	25.0	33.6	34.4	32.8	33.1	34.1
靴・かばん	29.9	28.5	18.1	42.6	42.8	21.4	24.3
酒類	28.8	34.1	24.2	26.0	23.7	28.5	28.0
果物・野菜	27.6	25.2	12.0	48.9	25.0	32.7	29.4
海産物	17.9	14.7	5.9	39.8	21.4	4.9	8.0
たばこ	13.0	20.6	7.6	4.0	19.7	3.2	7.5
電化製品	7.6	6.7	0.9	9.5	23.5	4.9	11.0
宝飾品・時計	5.6	3.7	4.0	4.6	16.4	4.2	13.0
その他	6.7	5.2	8.8	5.4	6.8	19.2	9.7

## (3) 最も満足した商品

購入したもののうち最も満足したものについて尋ねたところ、「菓子類」が23.8%と最も多い。国籍・地域別に見ると、中国と米国を除いて「菓子類」が最も多い。中国では「化粧品・香水」が18.7%、米国では「伝統工芸品」が17.6%と最も多くなっている。

図表 1-19 最も満足した商品



(%)

	全体	台湾	韓国	香港	中国	米国	その他
菓子類	23.8	23.8	30.2	21.9	17.5	7.3	20.3
医薬品	12.5	22.5	3.4	8.8	8.0	0.0	3.3
衣類	11.3	11.9	7.4	14.8	8.6	14.7	12.7
靴・かばん	7.9	6.9	6.6	10.0	10.6	7.4	9.2
化粧品・香水	7.2	6.6	5.2	7.4	18.7	7.3	2.8
伝統工芸品	7.1	4.9	12.0	4.7	5.1	17.6	11.2
その他食料・飲料	6.7	6.9	4.1	6.6	5.7	16.6	13.1
酒類	6.6	5.5	10.7	4.8	3.5	9.9	7.9
雑貨	6.5	4.5	13.1	3.7	7.9	4.8	4.5
果物・野菜	4.2	2.7	2.8	8.8	0.4	12.2	5.9
海産物	2.6	1.9	0.7	6.3	2.5	0.0	3.0
電化製品	1.8	1.5	0.4	1.1	7.8	2.2	3.5
宝飾品・時計	0.9	0.2	1.2	0.7	3.0	0.0	1.5
たばこ	0.6	0.2	2.0	0.0	0.6	0.0	0.0
その他	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	1.0

## 1. 空路調査

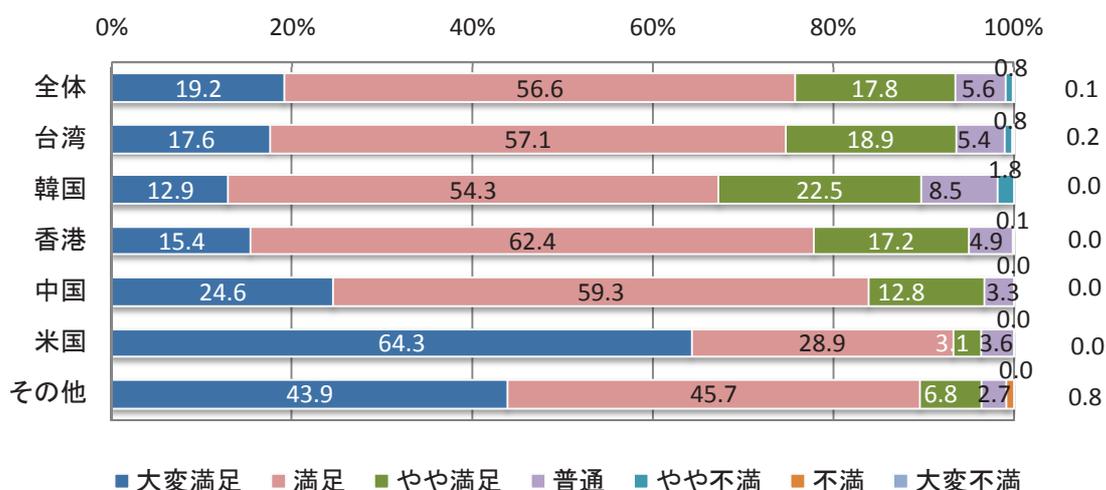
### 1-5 沖縄旅行の評価

#### (1) 沖縄旅行全体の満足度

全体では「大変満足」「満足」「やや満足」を合わせた“満足”の比率は9割を超えている。国籍・地域別に見ると、中国で“満足”が最も高く、韓国で最も低い。

「大変満足」が多いのは米国で64.3%を占める一方、台湾、韓国、香港では2割を下回っている。

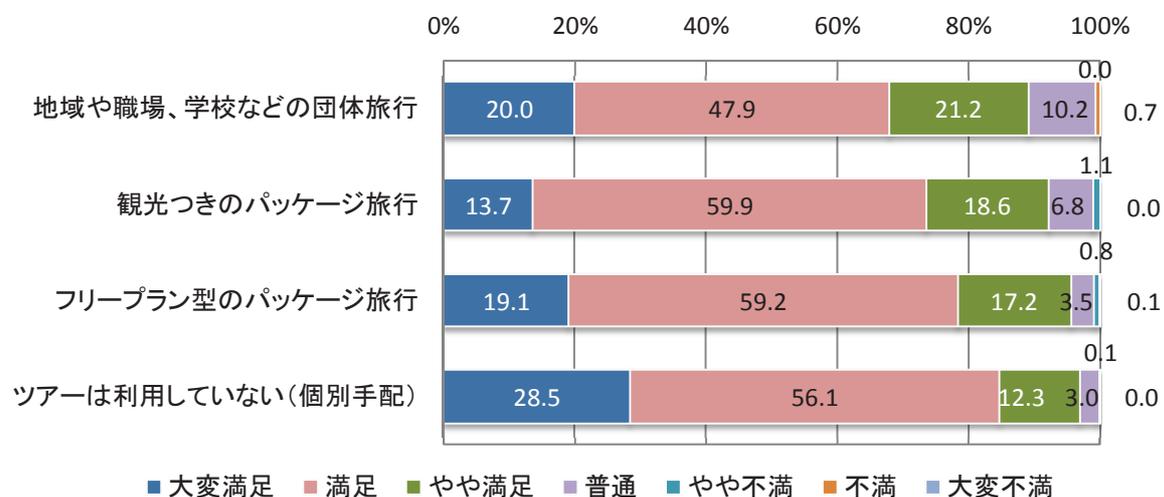
図表 1-20 旅行全体の満足度（国籍・地域別）



#### ・ 旅行形態別

旅行形態別に見ると、「ツアーは利用していない（個別手配）」は「大変満足」が多い傾向にある一方、「観光付きのパッケージ旅行」は「大変満足」がやや少ない傾向にある。

図表 1-21 旅行全体の満足度（旅行形態別）

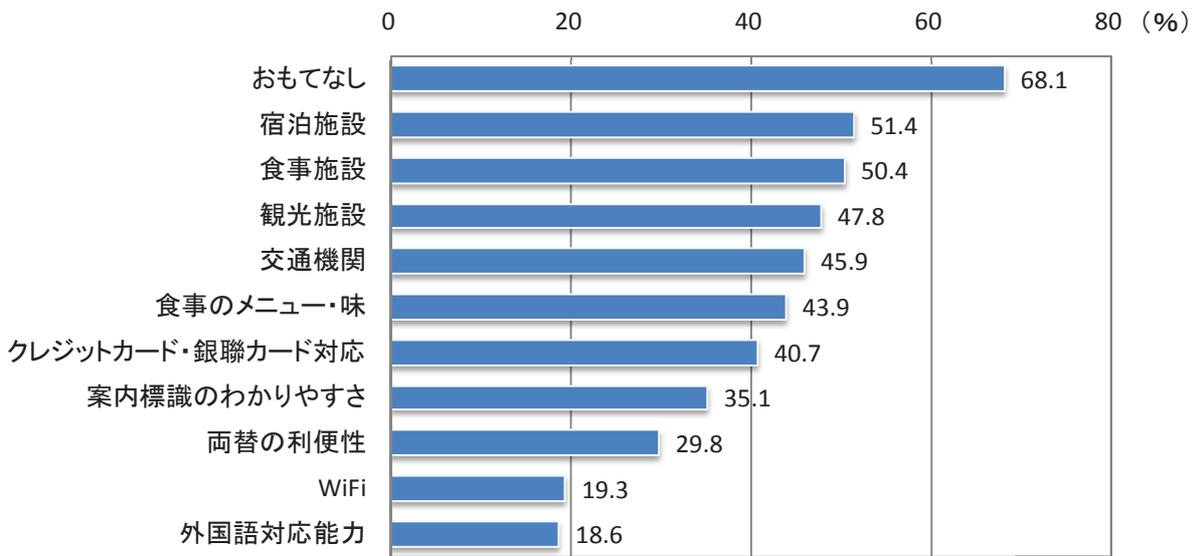


(2) 項目別満足度

・ 項目別満足度（「満足」と回答した比率）

項目別の満足度について尋ねたところ、最も満足度が高いのは「おもてなし」で68.1%であった。次いで「宿泊施設」（51.4%）、「食事施設」（50.4%）と続いている。

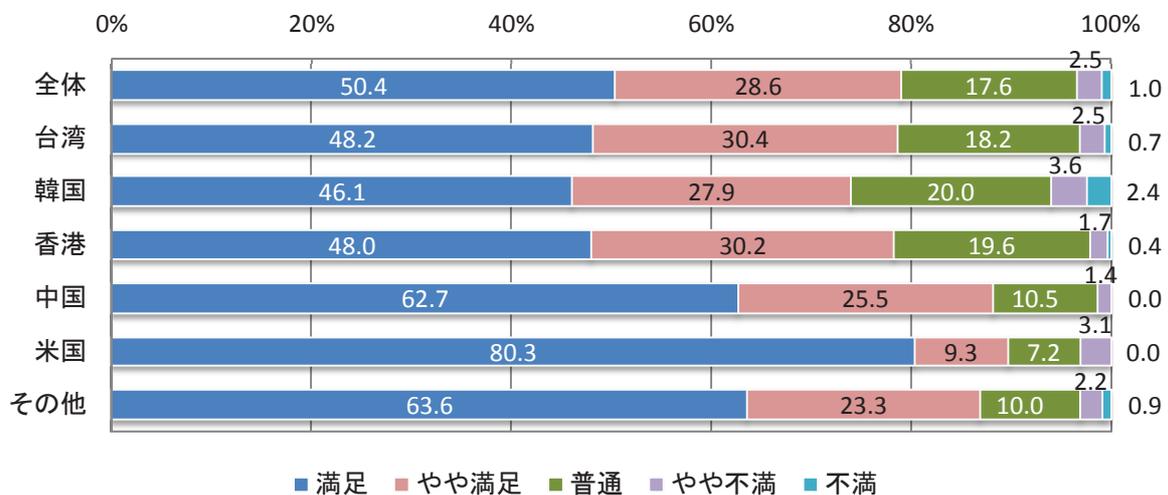
図表 1-2 2 項目別満足度



・ 食事施設

食事施設については、「満足」「やや満足」と回答した人の比率が韓国（74.0%）、香港（78.3%）、台湾（78.6%）で比較的低いが、それ以外の国籍・地域では9割近くに上る。

図表 1-2 3 食事施設の満足度（国籍・地域別）

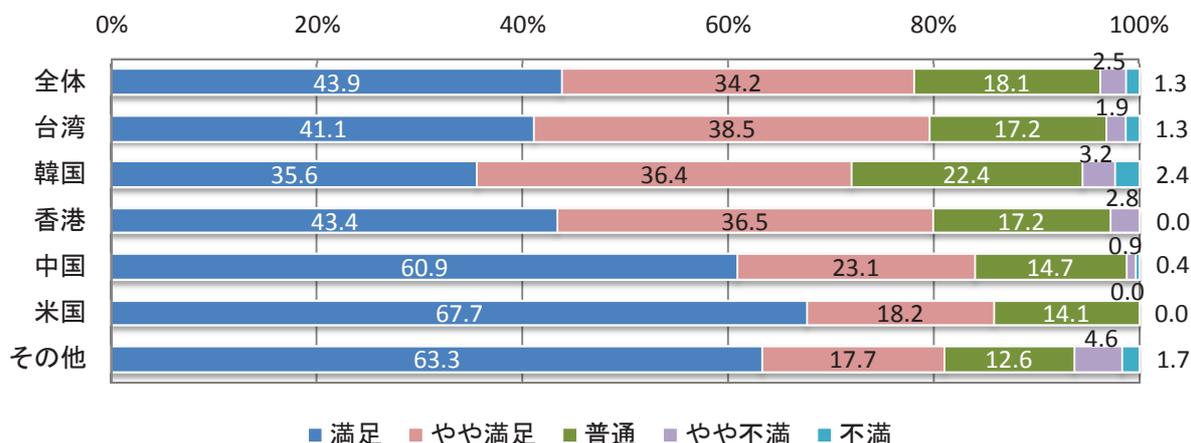


## 1. 空路調査

### ・ 食事のメニュー・味

食事のメニュー・味については、「満足」「やや満足」と回答した人の割合が韓国（72.0%）ではやや低いが、それ以外の国籍・地域では約8割となっている。

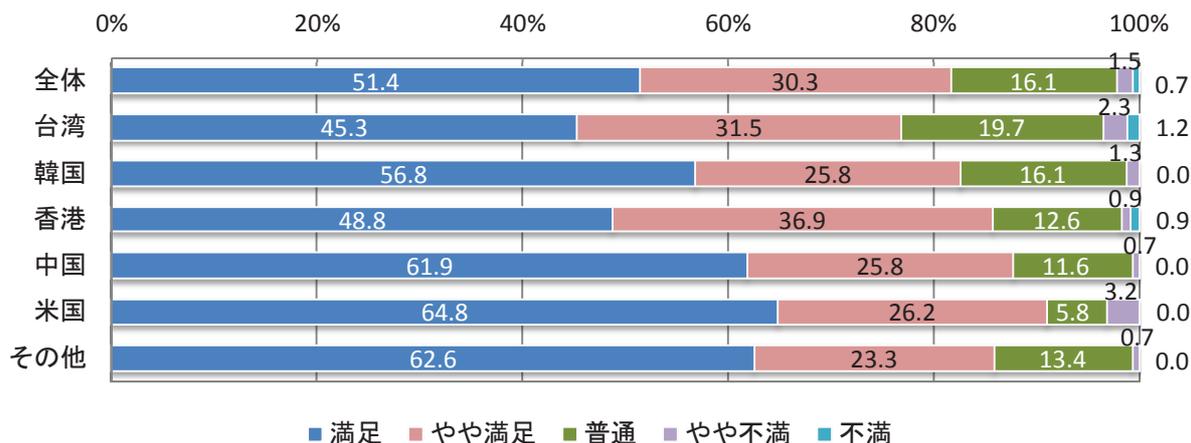
図表 1-2 4 食事のメニュー・味の満足度（国籍・地域別）



### ・ 宿泊施設

宿泊施設については、宿泊費の平均単価が低い傾向にある（p.32 参照）台湾で「満足」の比率が低くなっている。

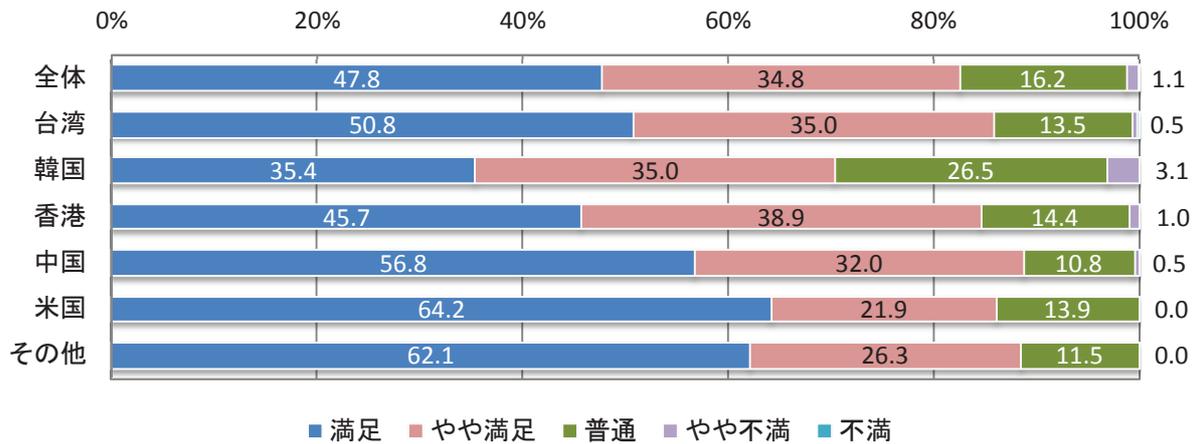
図表 1-2 5 宿泊施設の満足度（国籍・地域別）



・ 観光施設

観光施設については、韓国で「満足」「やや満足」を合わせた比率が約7割と低くなっているが、それ以外の国籍・地域では8割以上が満足と回答している。

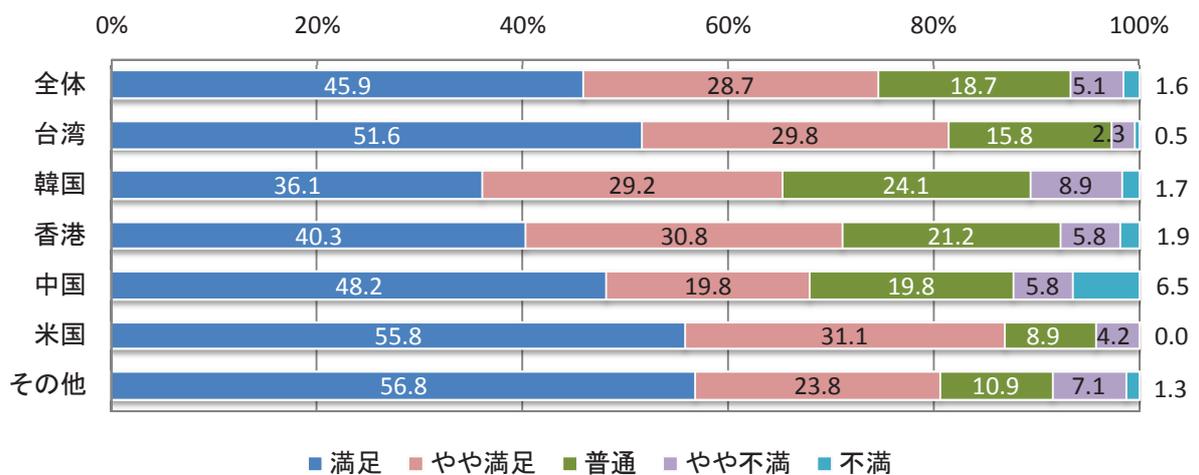
図表 1-2 6 観光施設の満足度（国籍・地域別）



・ 交通機関

交通機関については、レンタカー利用率の高い（p.12 参照）韓国、香港の満足度が低いほか、中国の満足度も低くなっている。

図表 1-2 7 交通機関の満足度（国籍・地域別）

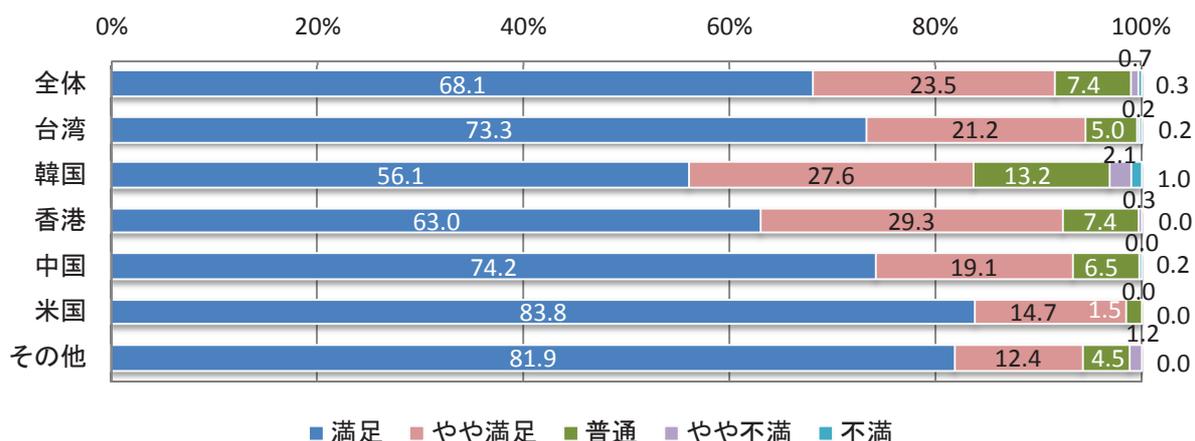


## 1. 空路調査

### ・ おもてなし

おもてなしについては、韓国以外の国籍・地域で「満足」「やや満足」を合わせた比率が9割を超えている。「満足」だけで見ても韓国以外は6割以上となっており、満足度が高いことを示している。

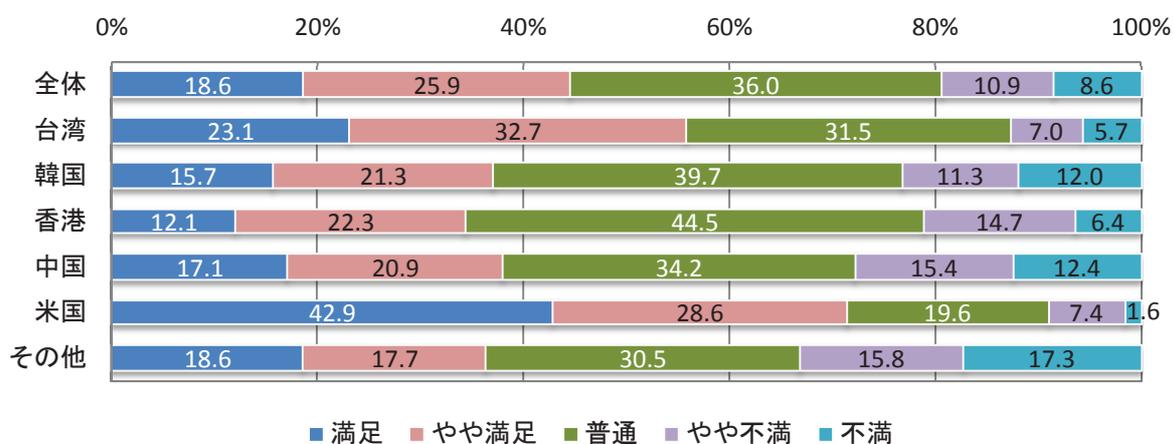
図表 1-28 おもてなしの満足度（国籍・地域別）



### ・ 外国語対応能力

外国語対応能力については、全体的に満足度が低い傾向となっている。米国で「満足」が4割を占めているが、それ以外の国籍・地域では2割前後にとどまっており、「満足」「やや満足」を合わせても5割を下回る国籍・地域が多い。

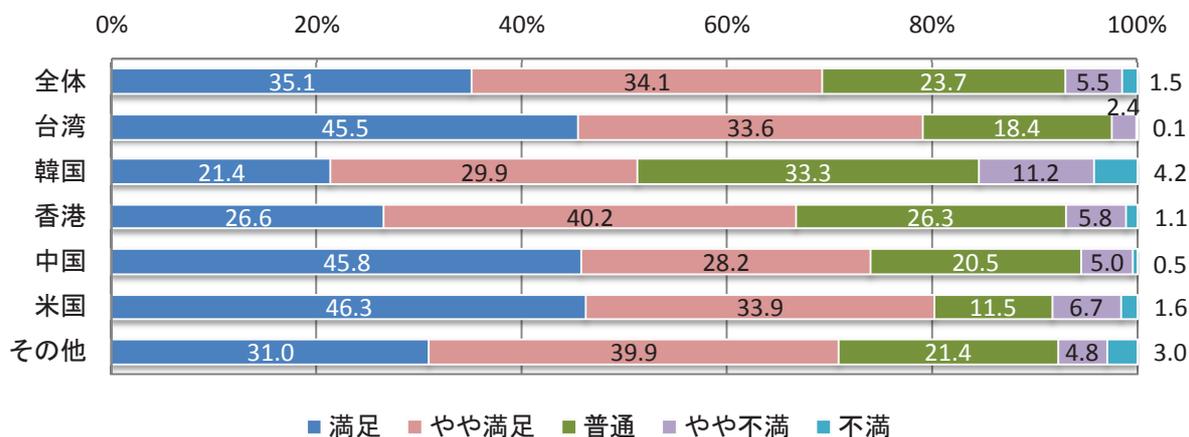
図表 1-29 外国語対応能力の満足度（国籍・地域別）



・ 案内標識のわかりやすさ

案内標識のわかりやすさについては、レンタカー利用率の高い（p.12 参照）韓国および香港で特に低くなっている。

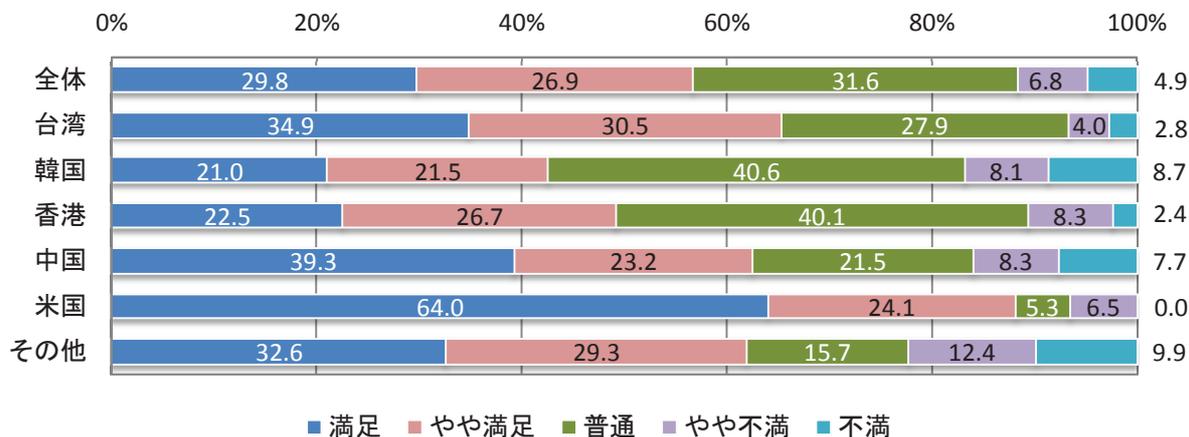
図表 1-30 案内標識のわかりやすさの満足度（国籍・地域別）



・ 両替の利便性

両替の利便性については、米国以外では「満足」の比率が低くなっている。

図表 1-31 両替の利便性の満足度（国籍・地域別）

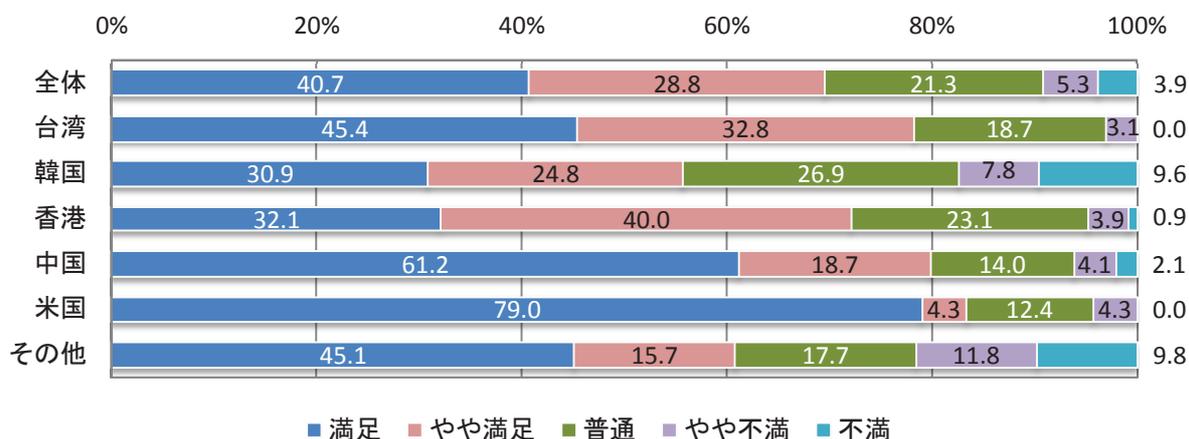


## 1. 空路調査

### ・ クレジットカード・銀聯カード対応

クレジットカード・銀聯カード対応については、中国、米国で高い満足度を示した一方、韓国、香港では「満足」の比率は3割にとどまっている。

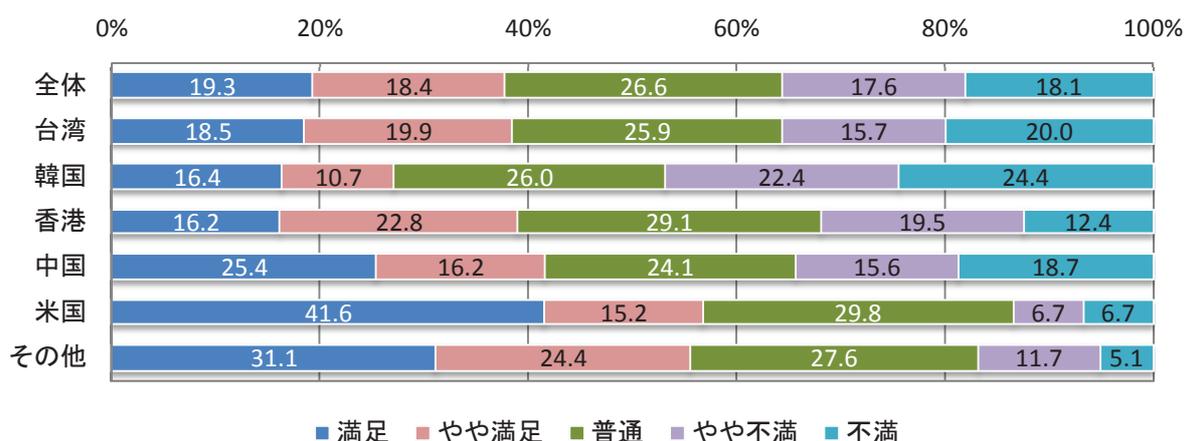
図表 1-3 2 クレジットカード・銀聯カード対応の満足度（国籍・地域別）



### ・ WiFi

WiFiについては、全体的に満足度が低く、全体では「やや不満」「不満」を合わせた比率が3割を超えている。国籍・地域別に見ると、台湾、韓国、香港で「満足」の比率が2割を下回っている。

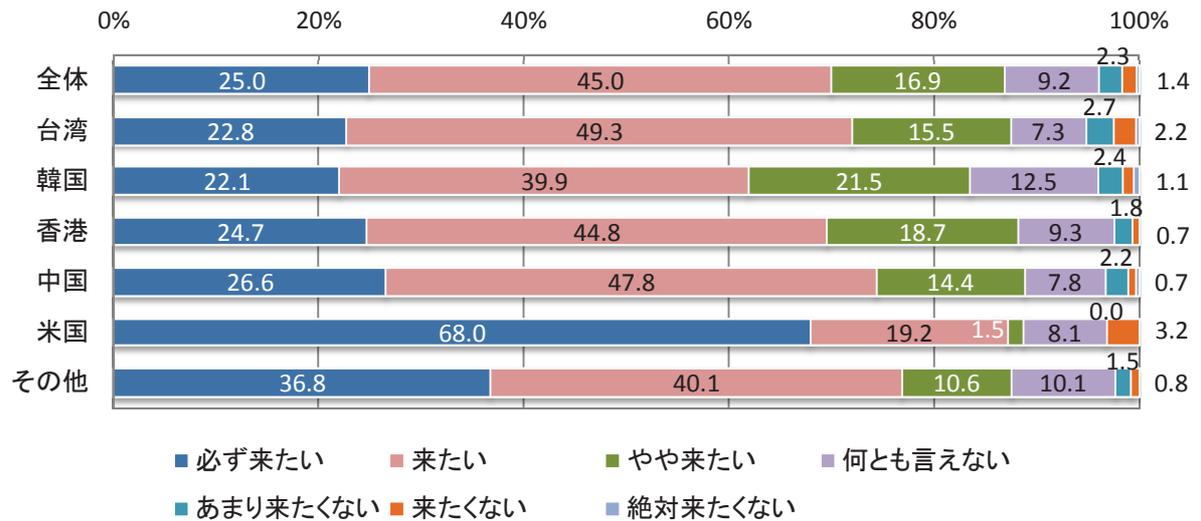
図表 1-3 3 WiFiの満足度（国籍・地域別）



## (3) 沖縄への再訪意向

「必ず来たい」「来たい」「やや来たい」を合わせた“来たい”比率は全体で9割近くとなっている。主要4か国籍・地域では韓国で“来たい”比率がやや低くなっている他は、ほぼ同様の再訪意向となっている。米国については「必ず来たい」が68.0%と非常に高くなっている。

図表 1-3 4 再訪意向（国籍・地域別）



## 1. 空路調査

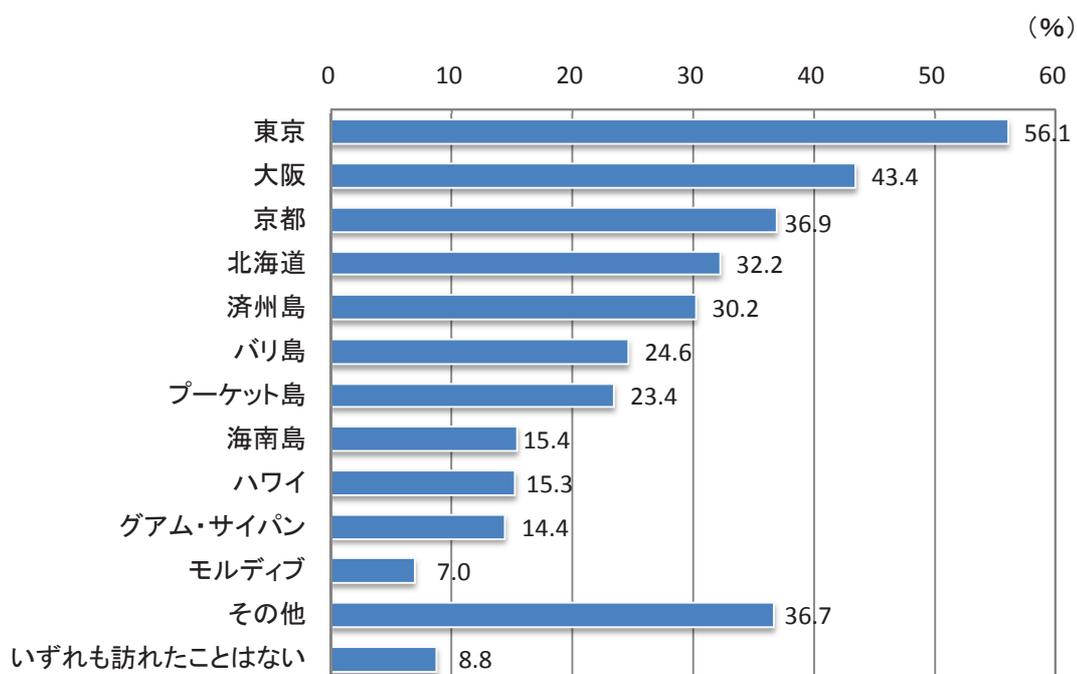
### 1-6 沖縄独自の魅力

沖縄独自の魅力は何かを探るため、平成25年度調査では競合となる観光地と比べて沖縄が優れている点、劣っている点を尋ね、沖縄の強みと改善すべき点の整理を行った。

#### (1) これまでに訪れたことのある観光地（複数回答）

これまでに訪れたことのある観光地について尋ねたところ、日本国内では「東京」が56.1%と最も多くなっている。次いで「大阪」(43.4%)、「京都」(36.9%)、「北海道」(32.2%)と続いている。日本以外では「済州島(韓国)」が30.2%と最も多く、次いで「バリ島(インドネシア)」が24.6%、「プーケット島(タイ)」が23.4%と続いている。「その他」ではヨーロッパ、タイ、米国、オーストラリアなどが多く挙げられた。

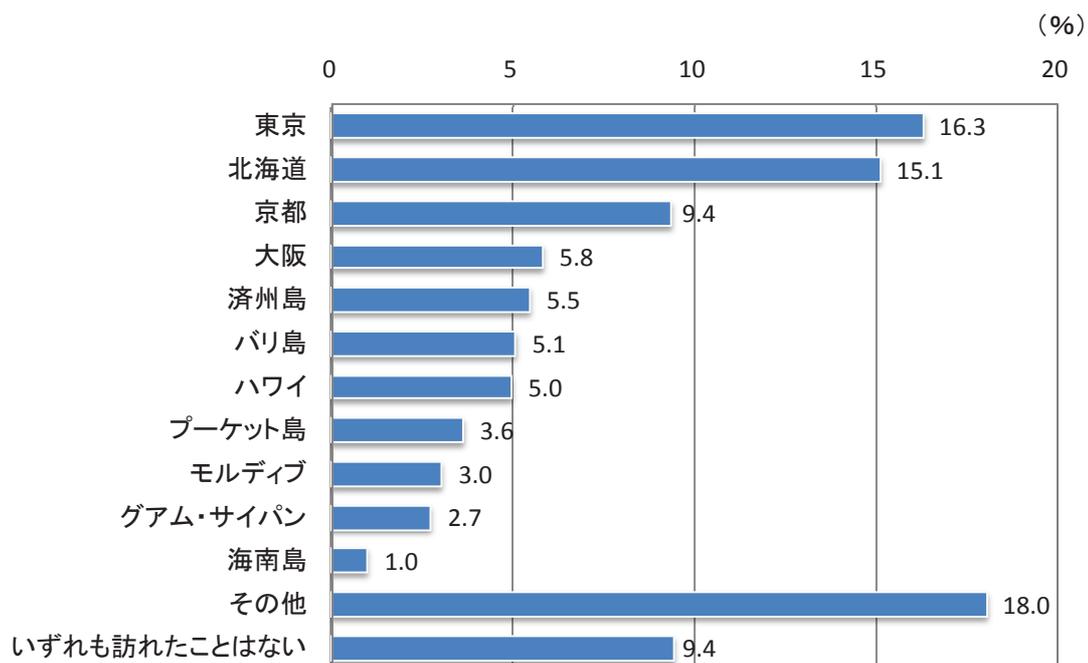
図表 1-35 これまでに訪れたことのある観光地（複数回答）



## (2) 一番お気に入りの観光地

一番お気に入りの観光地を尋ねたところ、「東京」が最も多く 16.3%、次いで「北海道」(15.1%)となった。日本以外では「済州島」(5.5%)、「バリ島」(5.1%)、「ハワイ」(5.0%)と続いている。「その他」ではタイ、韓国、オーストラリアなどが多く挙げられた。

図表 1-36 一番お気に入りの観光地



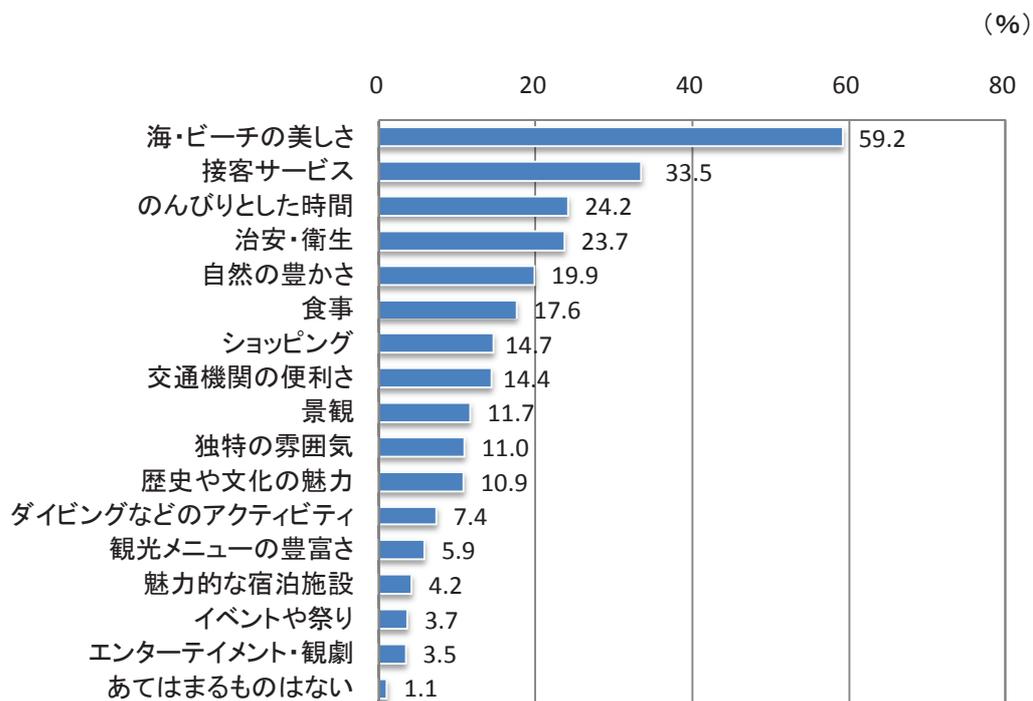
## 1. 空路調査

### (3) 沖縄独自の魅力となっているものと沖縄が劣っていると感じるもの

#### ・ 沖縄独自の魅力となっているもの

一番お気に入りの観光地と比べて、沖縄の方が優れていると感じる点を尋ねたところ、最も多かったのは「海・ビーチの美しさ」で59.2%だった。次いで「接客サービス」(33.5%)、「のんびりとした時間」(24.2%)と続いている。

図表 1-3 7 沖縄独自の魅力となっているもの（3つまで）

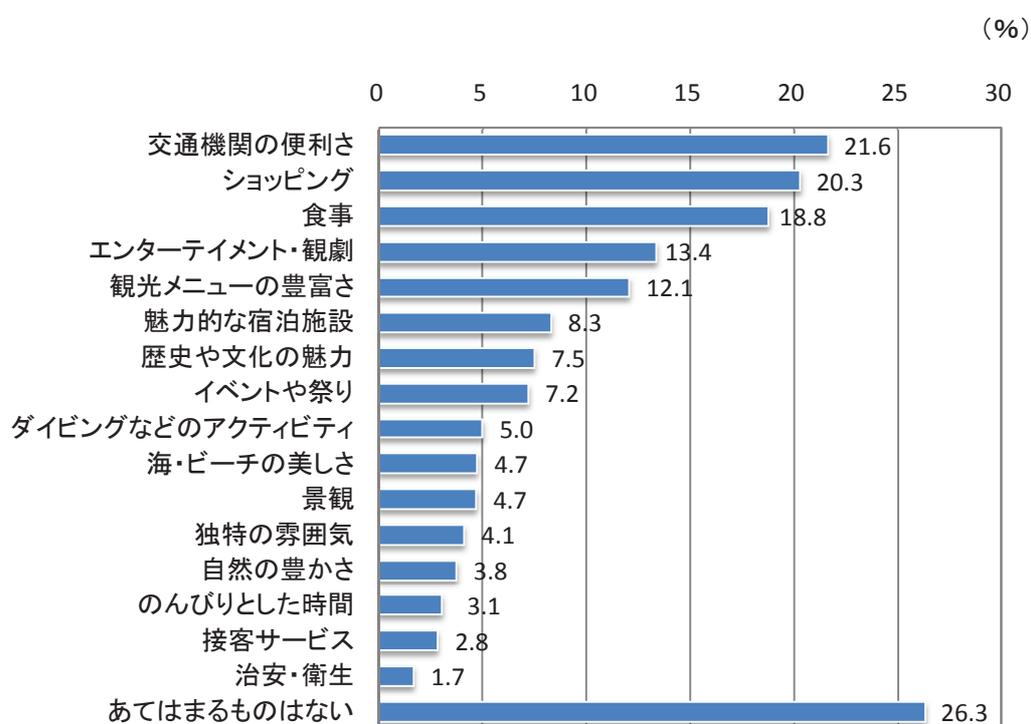


・ 沖縄が劣っていると感じるもの

一番お気に入りの観光地と比べて、沖縄が劣っていると感じるものを尋ねたところ、26.3%が「あてはまるものはない」と回答している。劣っているものを回答した中で最も多かったのは「交通機関の便利さ」(21.6%)で、次いで「ショッピング」(20.3%)、「食事」(18.8%)と続いている。

『1-3(8)活動(複数回答)』の項にあるとおり(13ページ)、沖縄旅行で行った活動の上位にショッピングが挙げられており、ショッピングの人気は高い一方で、「両替の利便性」、「外国語対応」などの満足度が低いことからショッピングの利便性の改善が求められる。

図表 1-38 沖縄が劣っていると感じるもの(3つまで)



## 1. 空路調査

### 1-7 訪沖外国人観光客の観光消費額（空路）

#### （1）観光消費額推計結果（四半期別、パッケージ参加費のうちの県内消費額含む）

平成25年度の訪沖外国人観光客の1人あたり観光消費額は96,548円であった。国籍・地域別に見ると、中国が152,531円と最も高く、台湾が76,412円と最も低くなっている。四半期別では10-12月期が最も高く99,890円であった。10-12月期は単価の高いその他の国籍・地域からの入域観光客数が多く、一方で単価の低い台湾の入域観光客数が4-6月期、7-9月期に比べて少ないことから単価の上昇につながったものと見られる。

図表 1-39 1人あたり観光消費額（国籍・地域別）

	全体	台湾	韓国	香港	中国	その他
4-6月期	97,365	71,735	105,859	118,921	169,817	107,733
7-9月期	94,579	76,263	86,769	121,290	132,926	106,657
10-12月期	99,890	82,075	81,404	120,954	159,885	105,652
1-3月期	95,175	76,739	76,568	133,077	157,661	102,818
年度合計	<b>96,548</b>	76,412	84,542	123,049	152,531	105,756

※四捨五入のため総額が一致しない場合がある。

#### （2）費目別観光消費額（パッケージ参加費内訳を含む）

費目別では、中国の土産買物費が平均で80,246円と、高さが際立っている。飲食費は香港が最も高くなっている（32,809円）。一方で、台湾と韓国の消費額は低い傾向にあり、特に台湾の宿泊費（16,211円）が低くなっている。

図表 1-40 1人あたり観光消費額費目内訳（国籍・地域別）

	全体	台湾	韓国	香港	中国	その他
宿泊費	22,476	16,211	24,789	27,741	23,927	31,624
土産買物費	33,150	29,027	24,645	35,985	80,246	24,102
娯楽入場費	5,737	4,158	5,432	7,446	6,121	9,427
飲食費	21,392	17,370	16,746	32,809	26,551	19,700
県内交通費	10,880	8,038	10,205	15,668	12,305	12,950
その他	2,914	1,608	2,725	3,400	3,380	7,953
消費額計	<b>96,548</b>	76,412	84,542	123,049	152,531	105,756

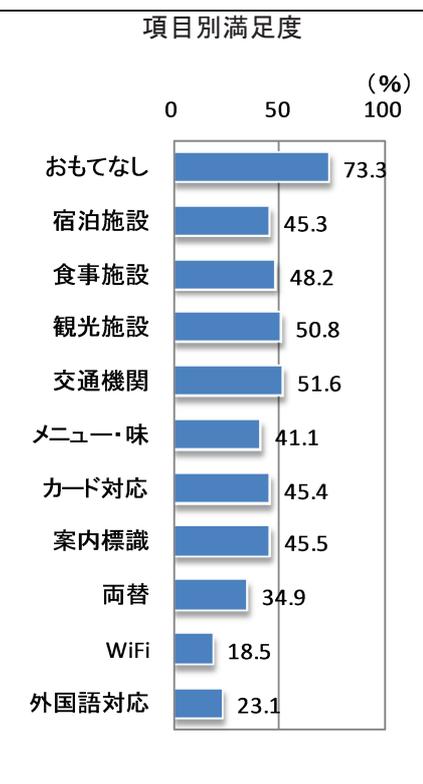
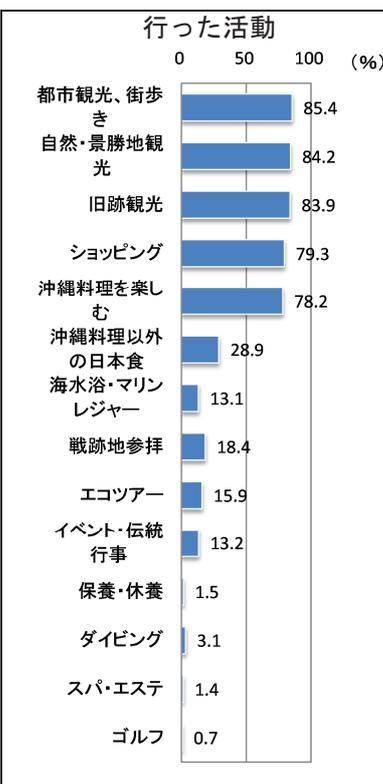
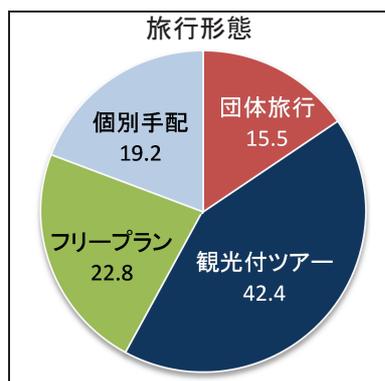
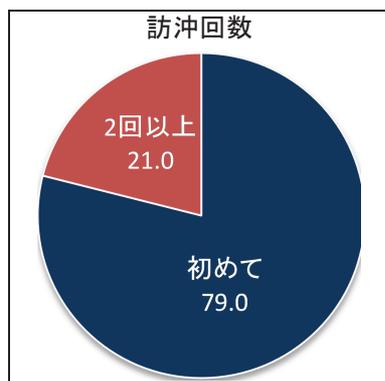
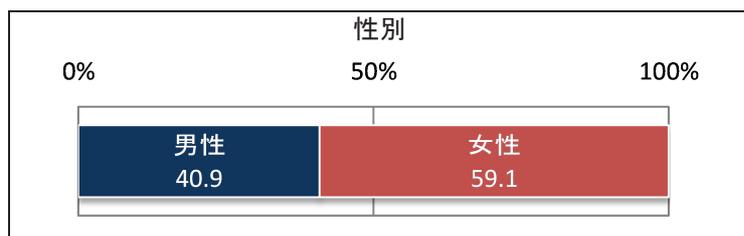
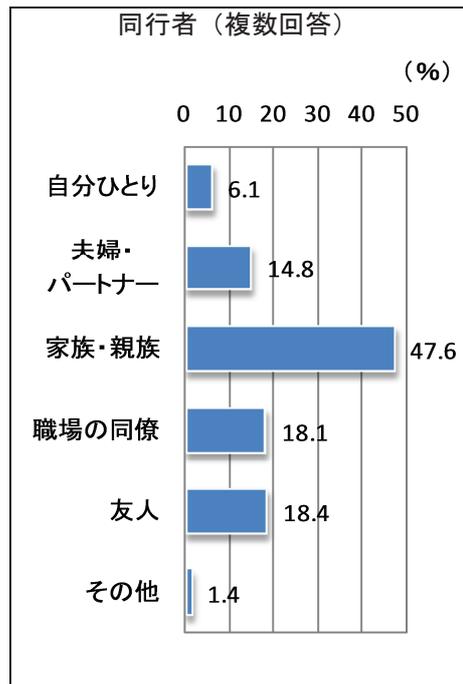
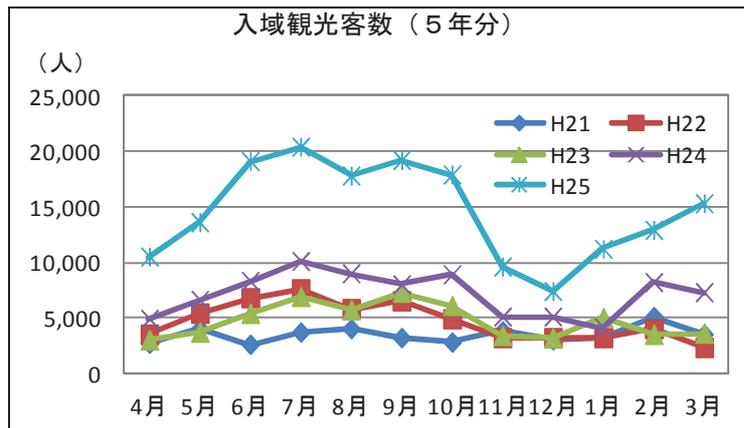
※四捨五入のため総額が一致しない場合がある。

#### ●推計方法

当アンケート調査では、ツアー料金・往復交通費等旅行前支出、沖縄県内での旅行中支出（宿泊費、土産買物費、娯楽入場費、飲食費、県内交通費、その他）を調査し、四半期別および国籍・地域別に算出し、四半期別および国籍・地域別の入域観光客数により重みを付けて年平均値を推計している。なお、旅行前に支払われているツアー料金のうち県内観光産業に吸収される額については、個人旅行者の消費額費目構成比から推計し、旅行中の支払額に加算して1人あたり観光消費額としている。

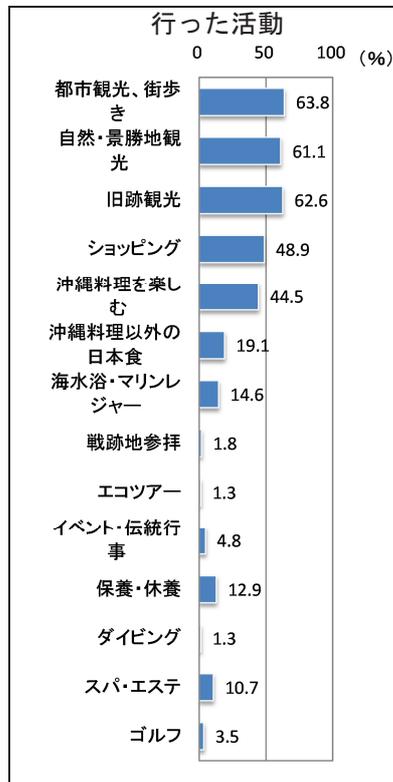
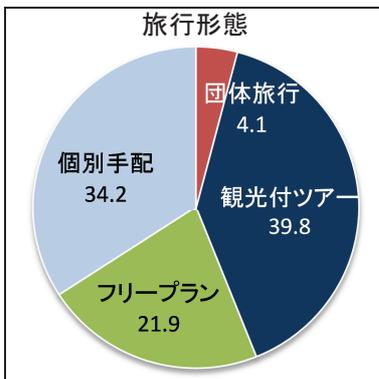
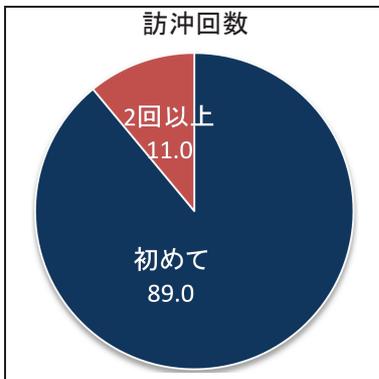
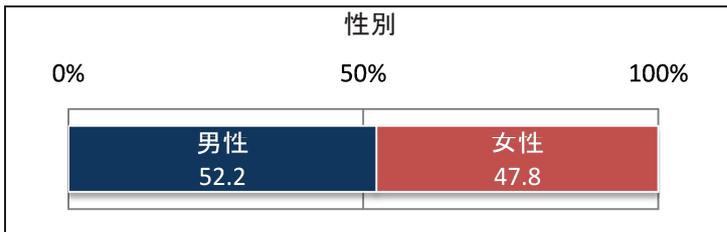
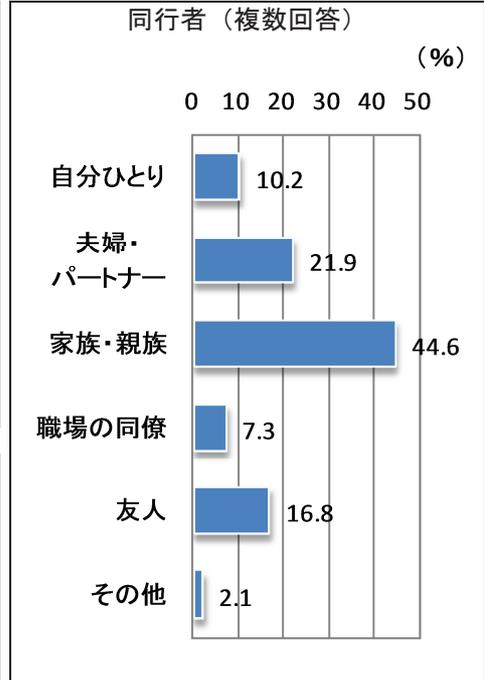
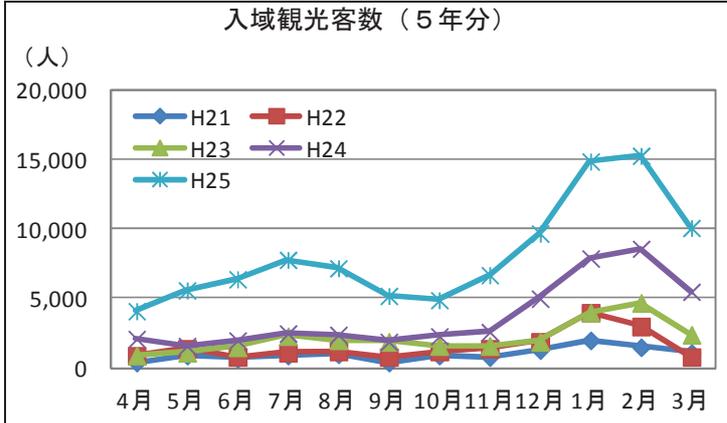
1-8 国籍・地域別サマリー（空路）

(1) 台湾	空路のみ	■ 入域観光客数	174,900人 (前年度比 204%、空路中シェア 40.1%)
		■ 1人あたり観光消費額	76,412円
		■ 観光収入	約134億円 (空路中シェア 31.8%、重点市場第1位)
		■ 平均泊数	3.42泊
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度の入域観光客数は全ての月で過去4年を大きく上回った</li> <li>・リピーターの割合が主要4か国籍・地域の中で最も多い(21.0%)</li> <li>・「観光付ツアー」が42.4%と半数近くを占め、個人旅行の割合が少ない</li> </ul>		

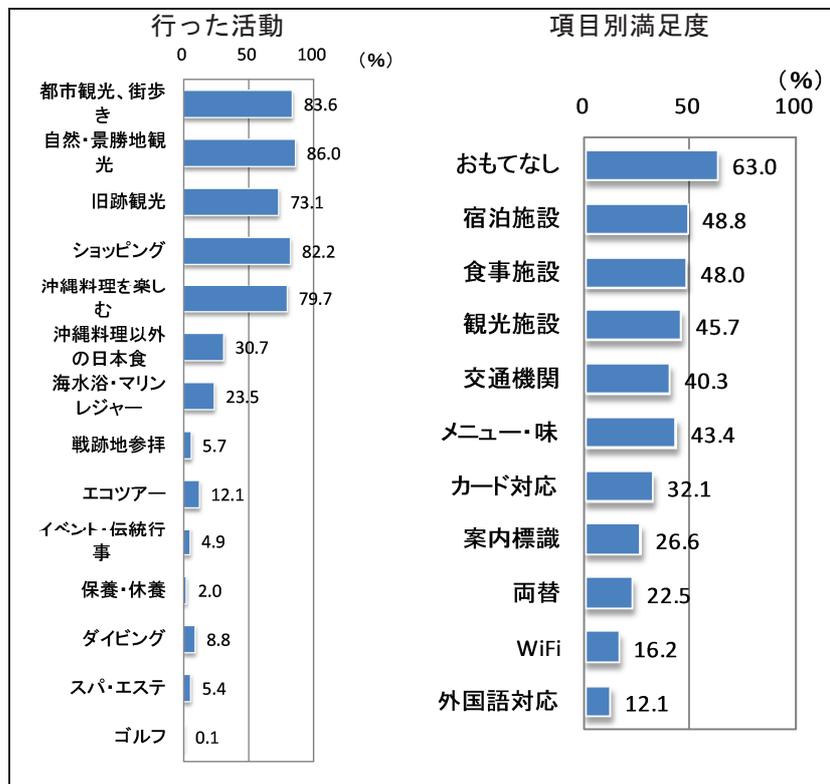
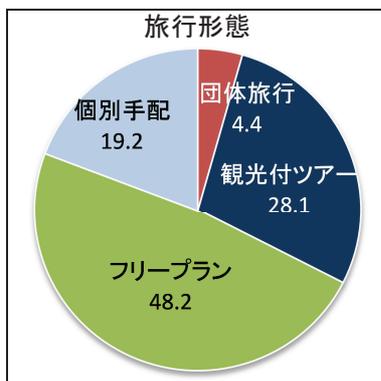
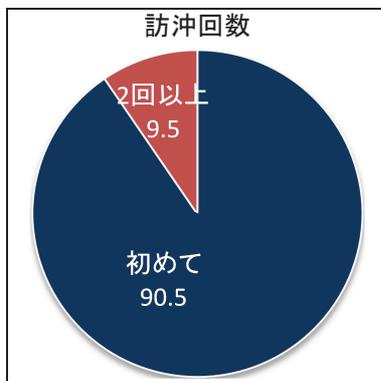
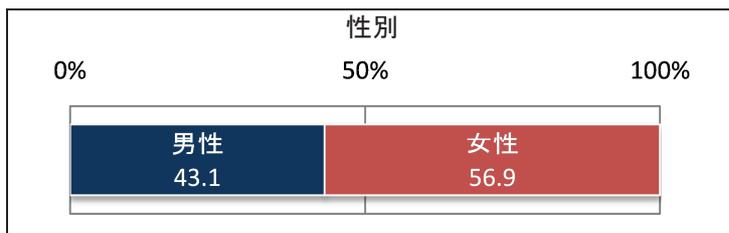
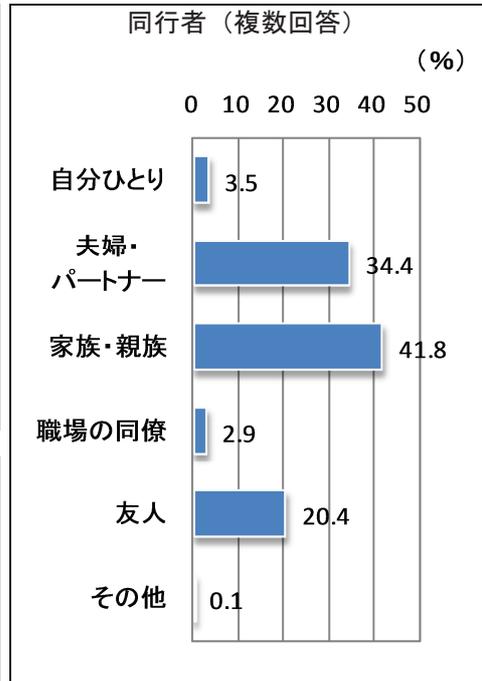
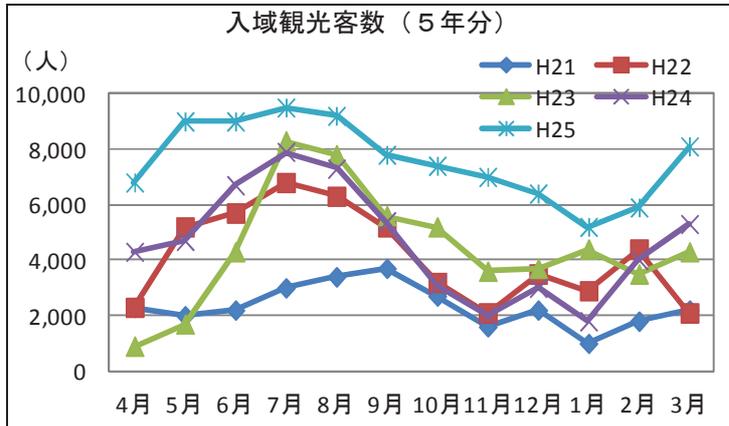


# 1. 空路調査

(2) 韓国	空路のみ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 入域観光客数 97,900人 (前年度比 220%、空路中シェア 22.5%)</li> <li>■ 1人あたり観光消費額 84,542円</li> <li>■ 観光収入 約83億円 (空路中シェア 19.7%、重点市場第3位)</li> <li>■ 平均泊数 3.22泊</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度の入域観光客数は全ての月で過去4年を大きく上回った</li> <li>・個人旅行の割合が主要4か国籍・地域で最も多い(34.2%)</li> <li>・冬期の訪沖客数が多い</li> </ul>

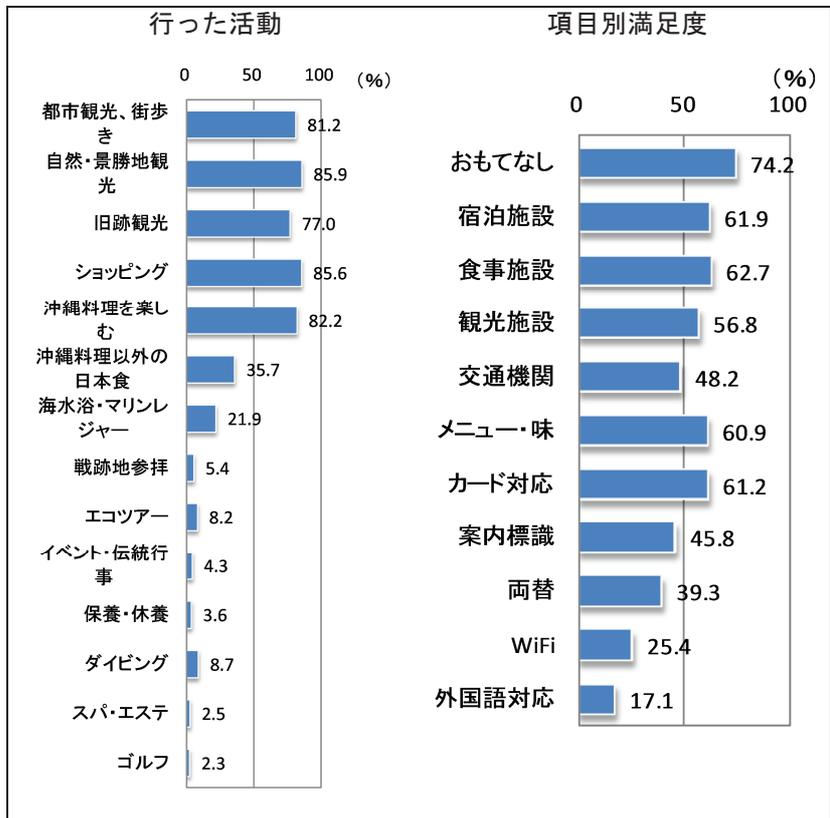
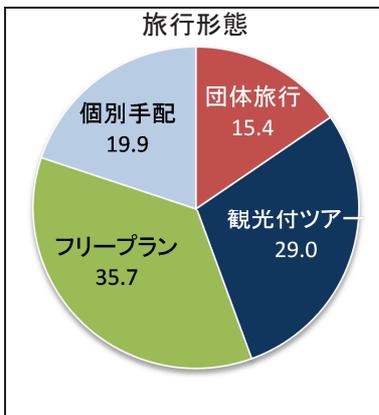
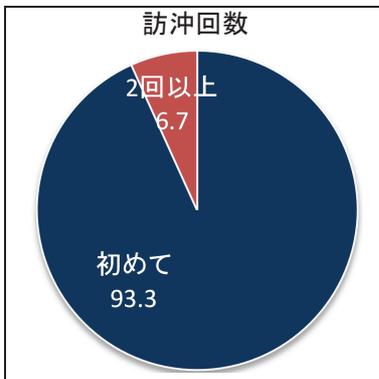
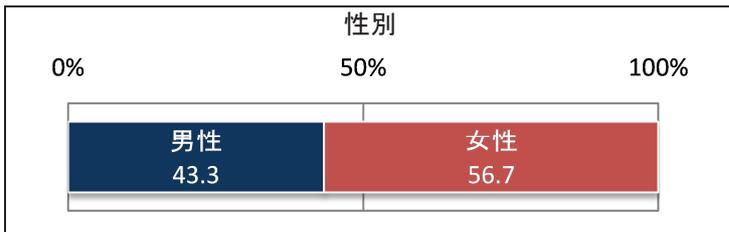
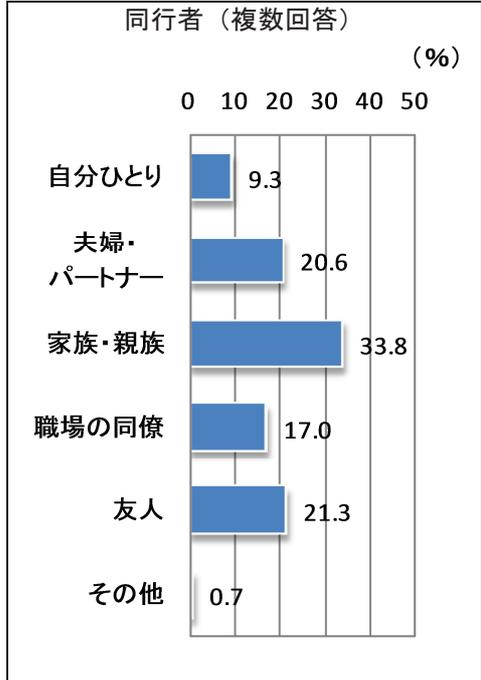
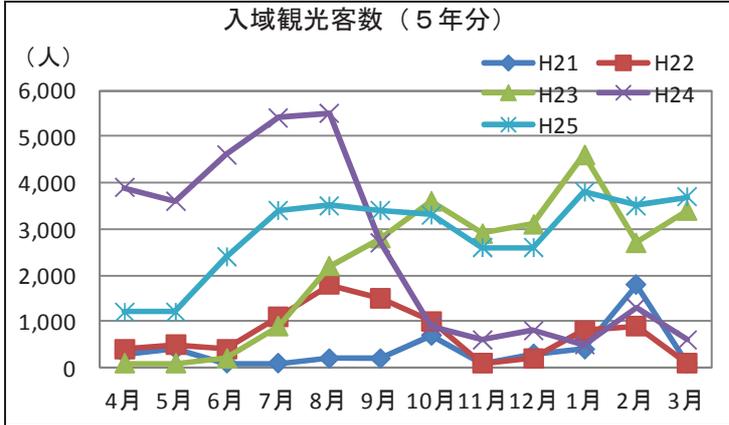


(3) 香港	空路のみ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 入域観光客数 91,300人 (前年度比165%、空路中シェア21.0%)</li> <li>■ 1人あたり観光消費額 123,049円</li> <li>■ 観光収入 約112億円 (空路中シェア26.7%、重点市場第2位)</li> <li>■ 平均泊数 4.11泊</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度の入域観光客数は全ての月で過去4年を大きく上回った</li> <li>・他の国籍・地域と比べて「夫婦・パートナー」との訪沖割合が多い(34.4%)</li> <li>・「フリープラン」の割合が最も多い(48.2%)</li> </ul>



# 1. 空路調査

(4) 中国	空路のみ	■ 入域観光客数 34,600人 (前年度比114%、空路中シェア7.9%) ■ 1人あたり観光消費額 152,531円 ■ 観光収入 約53億円 (空路中シェア12.5%、重点市場第4位) ■ 平均泊数 3.62泊
	特徴	・4-6月期の入域観光客数は低迷、7月以降回復も23年度並みに留まる ・訪沖が「初めて」の割合が最も多い(93.3%) ・「ショッピング」の割合が最も多い(85.6%)



(5) 米国	空路のみ	■入域観光客数	6,300人	(前年度比124%、空路中シェア1.4%)
		■平均泊数	8.02泊	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入域観光客数は過去4年とほぼ同程度で推移</li> <li>・「自分ひとり」での訪沖割合が多い(47.4%)</li> <li>・リピーターの割合が多い(30.9%)</li> </ul>			

